

3. 運転装置の取扱い

ドアの開閉

キー	3-2
ドア	3-4
リモートコントロールエントリー システム	3-9
携帯リモコン	3-11
スライドドアクローザー	3-16
パワースライドドア	3-16

警報装置

カーアラーム	3-22
--------	------

各部の開閉

パワーウィンドー	3-26
ボンネット	3-29
燃料給油口	3-31

シートの調節

前席シート	3-32
後席シート	3-36
フルフラットシート	3-44

各部の調節

ルームミラー	3-45
ドアミラー	3-46
チルトステアリング	3-48

メーター

メーターの見かた	3-49
警告灯・表示灯の見かた	3-53

スイッチの使いかた

ライトスイッチ	3-62
ヘッドランプレベライザースイッチ	3-64
方向指示器スイッチ	3-65
非常点滅表示灯スイッチ	3-66
ワイパー／ウォッシャースイッチ	3-66
ホーンスイッチ	3-67
リヤデフォグガススイッチ	3-68
フォグランプスイッチ	3-69

エンジン始動

エンジンスイッチの各位置のはたらき	3-70
エンジンイモビライザー	3-71
プッシュエンジンスターター	3-72
エンジンのかけかた	3-76

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの操作	3-79
--------------	------

オートマチック車

セレクトレバーの操作	3-81
オートマチック車の特性	3-84
オートマチック車を運転するとき	3-85
オートマチック車の運転のしかた	3-87

アイドリングストップ

アイドリングストップ	3-91
ヒルスタートアシスト	3-94

ドア

スイッチ

警報装置

エンジン始動

各部の開閉

ブレーキ

シート

オートマチック車

各部の調節

アイドリングストップ

メーター

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

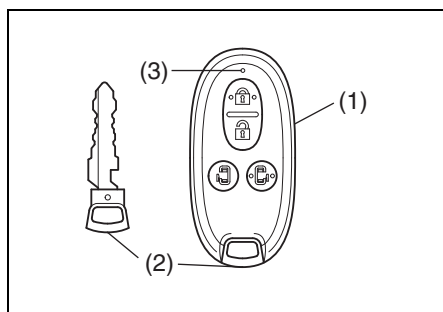
キー

- キーはドアの施錠・解錠に使えますが、エンジンの始動・停止には使えません。エンジンの始動・停止には携帯リモコンをご使用ください。

→ 3-76ページ(エンジンのかけかた)

- キーを紛失したり、車内に閉じ込めたりしないように注意してください。
- 携帯リモコン(1)が2個、リモコンに格納可能なキー(2)が2本付いています。

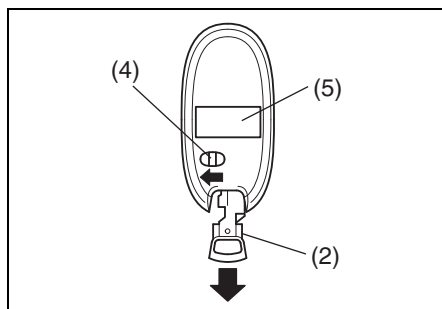
→ 3-11ページ(携帯リモコン)



(3) 作動表示灯

- 上図の携帯リモコンは代表例です。お車のタイプにより異なります。

- リモコンに格納されているキー(2)は、ロック解除レバー(4)を ← 方向に引きながら取り出します。



(5) 適合証明マーク

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

警告

リモコンキーを航空機内へ持ち込む場合は、機内で操作ボタンを押さないでください。また、バッグなどに入れるときは、簡単に操作ボタンが押されないように収納してください。操作ボタンが押されると、電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

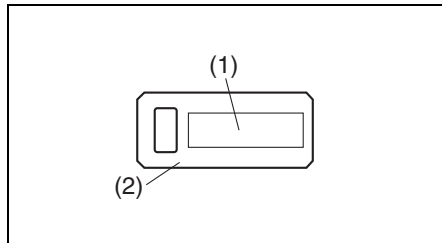
※リモコンキーは、航空機内での使用が制限される電子機器に該当します。

アドバイス

- 携帯リモコンには、キーを格納してください。リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠ができなくなるおそれがあります。
- 盗難などを防ぐため、キーを紛失したときは、すみやかに日産販売会社にご相談ください。
- キーのご購入については、日産販売会社にご相談ください。

キーナンバープレート

キーナンバープレート (2) には、キー作成時に必要なキーナンバー (1) が打刻されています。



アドバイス

- お客様以外の方にキーナンバーを知られないよう、キーナンバープレートは車両以外の場所に、大切に保管してください。万一、キーを紛失したときは、日産販売会社にキーナンバーを伝えてご相談ください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有される方のために、キーナンバープレートをお車のキーとともにお渡しください。

3. 運転装置の取扱い／ドアの開閉

ドア

フューエルリッドが開いていると、干渉防止のため、助手席側スライドドアは少ししか開きません。

→ 3-31ページ（フューエルリッド）

警告

- ドアを閉めるときは、シートベルトや荷物などをはさまないようにしてください。半ドア状態になって、走行中にドアが開くおそれがあります。
- エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。

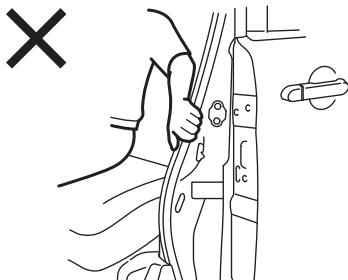
注意

- ドアの開閉は、お子さまではなく大人が行ない、手、足、頭などをはさまないように気をつけてください。
- ドアを開けるときは、後ろからの車に注意してください。とくに風が強い日は注意してください。
- スライドドアを開けるときは、後席窓から手や頭などの身体を出さないでください。身体をはさまれ、けがのおそれがあります。



82K20020

- スライドドアの開閉は、車外および車内のスライドドア周囲の安全を十分に確認してから行ってください。ドアに手足や頭などの身体をはさまれ、けがのおそれがあります。



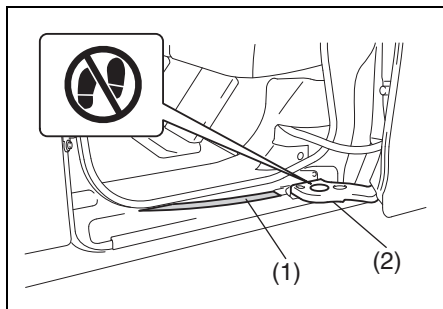
82K045

- 傾斜地では、スライドドアを開けたままにしないでください。スライドドアが不意に閉まるおそれがあります。
- バックドアやスライドドアを開けるときは、完全に開けてください。開けかたが不十分な場合、思わぬときに閉まって、けがのおそれがあります。
- エンジンがかかっているときは、排気管の真後ろでバックドアを開閉しないでください。やけどなどのおそれがあります。
- スライドドア開口部の下側にあるアーム(2)は、乗り降りの際のステップではありません。足を掛けしないでください。けがのおそれがあります。また、故障の原因となります。

注記

スライドドア開口部の下側にあるローラー滑走面(1)に、石などの異物が入らないように気をつけてください。異物が入ったままドアを開閉すると、故障の原因となります。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉



⚠️アドバイス

カーアラームのセット状態およびドアの開けかたによっては、警報が作動する場合があります。

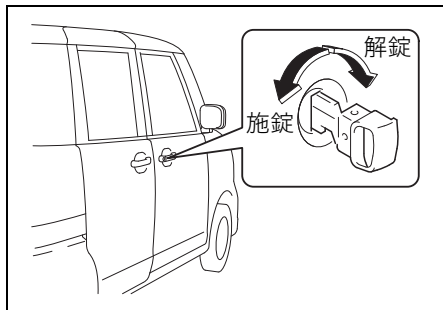
→ 3-22ページ (カーアラーム)

キー操作による車外からの 施錠・解錠

- 3-9 ページ (リモートコントロール エントリーシステム)
- 3-11 ページ (携帯リモコン)

■ 運転席ドア

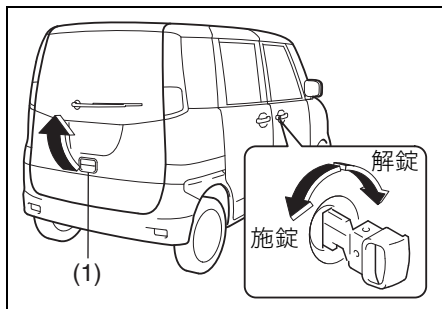
キーを差し込んで車の前方向にまわすと解錠、後ろ方向にまわすと施錠できます。



■ バックドア

運転席ドアにキーを差し込んで、車の前方向にまわすと解錠、後ろ方向にまわすと施錠できます。

- バックドアを開けるときは、解錠後、ドアハンドル (1) を手前に引きながらドアを持ち上げます。

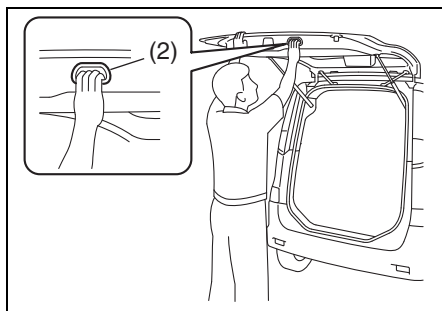


注記

バックドアを開けるときに、ドアガラスの下端部を持たないでください。ガラスが破損するおそれがあります。

バックドアを閉めるときは

ドア下面右側の手かけ部 (2) を持って引き下げます。最後はドアを外側から手で、少し勢いをつけて押し付けます。

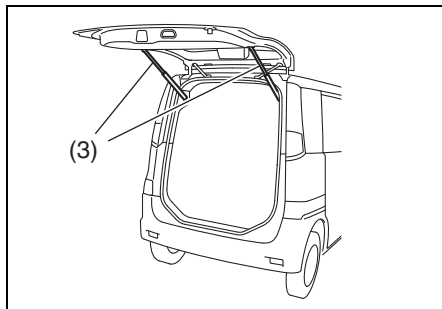


3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

▲ 注意

バックドアを支えているダンパーステー (3) の損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。ステーが円滑に動かなくなったり、バックドアを開けたときに、保持できなくなったりするおそれがあります。

- ステアのロッド部 (ドア開閉時に摺動する棒部分) に傷をつけたり、泥やビニール片、テープなどの異物を付着させたりしないでください。
- ステアに手をかけたり、物をかけたりしないでください。

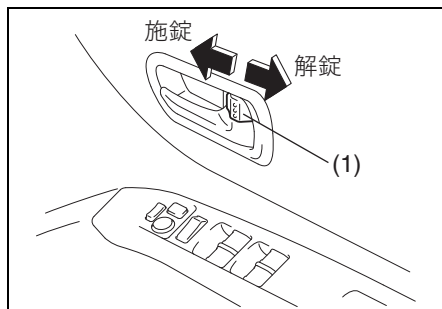


車内からの施錠・解錠

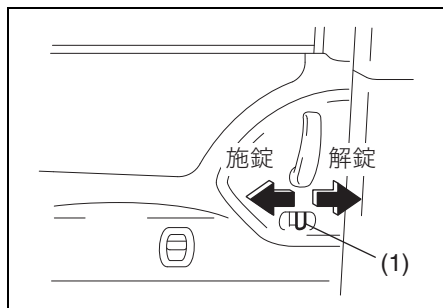
■ 前席ドア、スライドドア

ドアを閉めてロックレバー (1) を施錠側にすると施錠、解錠側にするると解錠できます。

前席ドア



スライドドア



アドバイス

解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。

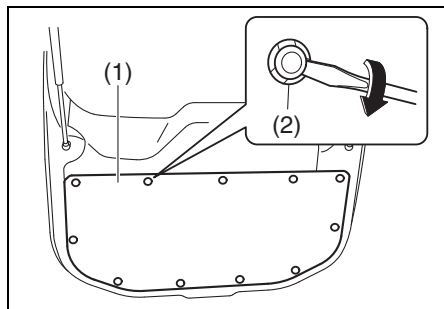
■ バックドア

故障やバッテリーあがりなどでバックドアが解錠できないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

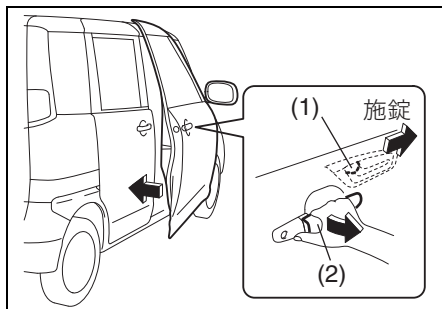
緊急を要するときは、次の手順で解錠してください。

- 1 後席の背もたれを倒すなどして、作業スペースを確保します。
→ 3-36ページ (後席シート)
- 2 バックドアのロアトリム (1) を外します。
 - 固定しているクリップ11個 (2) は、マイナスドライバー (市販品) でこじて外します。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

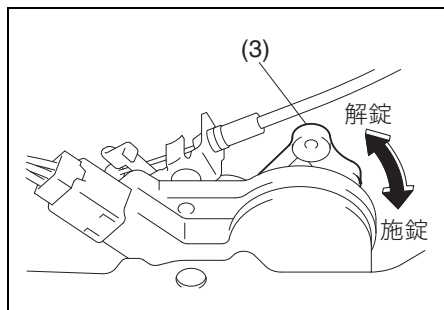


82K30030



82K0058

- 3 トリム内にあるレバー (3) を引き上げると、解錠します。
施錠するときは、レバーを押し下げます。



82K011

▲ 注意

レバー操作をするときは、バックドアの穴周囲のエッジ部分をさわらないでください。けがのおそれがあります。

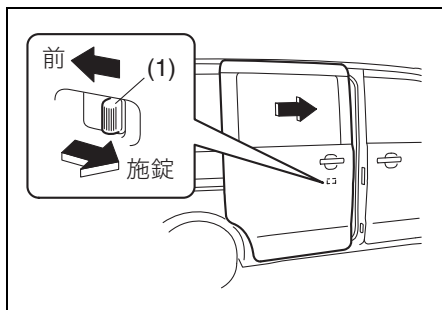
キーを使わない施錠

■ 前席ドア

ロックレバー (1) を施錠側 (車の前方向) にして、ドアハンドル (2) を引いたままドアを閉めると施錠できます。

■ スライドドア

ロックレバー (1) を施錠側 (車の後ろ方向) にして、ドアを閉めると施錠できます。



82K30590

📌 アドバイス

- 「キーを使わない施錠」をするときは、キーが手元にあるか確認してください。キーを閉じ込むおそれがあります。
- 次のような状況では、「キーを使わない施錠」ができない場合があります。
 - 携帯リモコンが車内にある
 - エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のとき
→ 3-14 ページ (携帯リモコン閉じ込み防止機能)

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

ド
ア

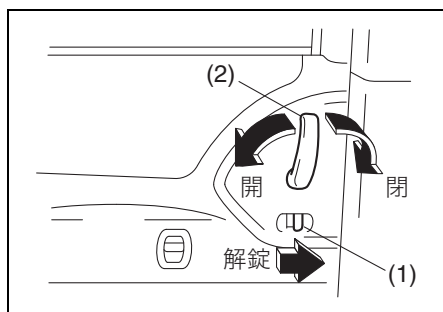
車内からの開閉

■ スライドドア (手動開閉時)

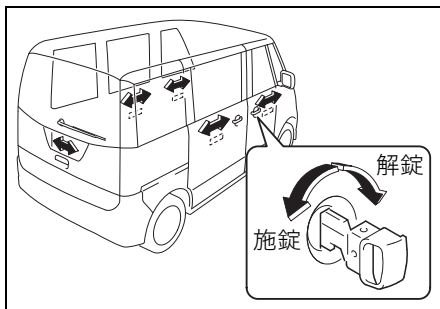
- 車内から開けるときは、ロックレバー (1) を解錠側 (車の前方向) にして、車内のドアハンドル (2) を開く方向 (車の後ろ方向) に引きます。
- 車内から閉めるときは、車内のドアハンドルを閉める方向 (車の前方向) に押しします。

→ 3-16ページ

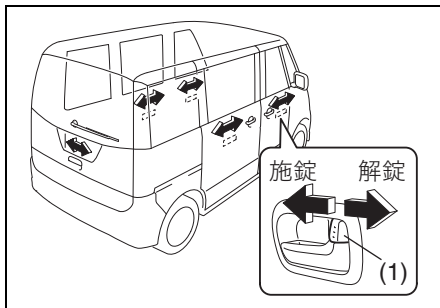
(パワースライドドア)



82K30600



82K370



82K061

キーまたはロックレバー操作によるパワードアロック

→ 3-9 ページ (リモートコントロール エントリースystem)

→ 3-11ページ (携帯リモコン)

運転席ドアをキーまたはロックレバー (1) 操作で施錠・解錠すると、助手席 / スライドドアおよびバックドアも同時に施錠・解錠します。

⚠️ アドバイス

いずれかのドアが開いていると、キーまたは運転席ドアのロックレバー操作で施錠できない場合があります。

→ 3-14 ページ (携帯リモコン閉じ込み防止機能)

■ ドアロック解除機能

衝突などで SRS エアバッグが作動すると、自動的にすべてのドアロックを解除します。

- SRS サイドエアバッグ (タイプ別装備) が作動したときも、ドアロック解除機能が作動します。

⚠️ アドバイス

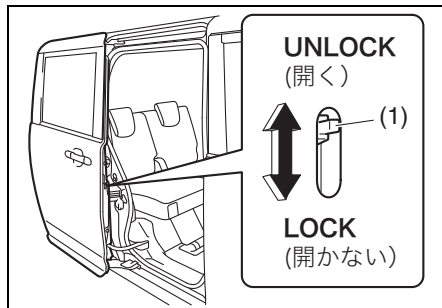
エアバッグが作動したときでも、ドアロックモーターの配線やモーター自体が損傷した場合は、ドアロック解除機能が作動しません。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

チャイルドセーフティドア ロックによる施錠・解錠

車内からスライドドアが開かないようにできます。お子さまなどによるドア誤開放を防止するために使用してください。

- スライドドアにあるレバー (1) を **LOCK** (開かない) の位置にして、ドアを閉めます。車内からはドアが開きません。
- 外からドアを開けることは可能です。



82K30040

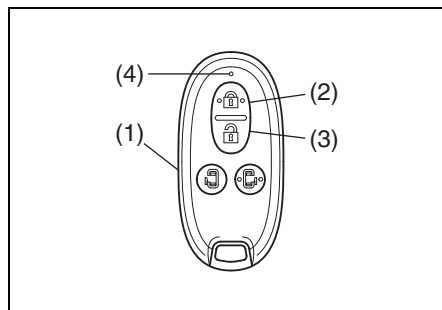
▲ 注意

スライドドアは、窓から手を出して外側のドアハンドルで開閉しないでください。腕などをはさまれ、けがのおそれがあります。

リモートコントロール エントリーシステム

車から約2 m以内の範囲で携帯リモコンのロックスイッチ・アンロックスイッチを押すと、すべてのドアを施錠・解錠できます。

- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。



82K238

- (1) 携帯リモコン
- (2) ロックスイッチ
- (3) アンロックスイッチ
- (4) 作動表示灯

- 上図の携帯リモコンは代表例です。お車のタイプにより異なります。

▲ 警告

火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めてドアを施錠してください。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

⚠️アドバイス

- 次のようなときは、リモートコントロールエントリーシステムが作動しません。
 - いずれかのドアが開いていると、施錠できません。（解錠はできます）車外ブザーが“ピー”と約2秒間鳴ります。
 - エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のとき。
- リモートコントロールエントリーシステムの作動距離は、周囲の影響で変わることがあります。また、強い電波などが発生している場所では、リモートコントロールエントリーシステムが作動しないことがあります。
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。
- 携帯リモコンでドアの施錠・解錠ができないときは、キーを使って施錠・解錠をしてください。
- リモートコントロールエントリーシステムが正しい距離で作動しないときは、電池の消耗が考えられます。
 - **6-6ページ**
(携帯リモコンの電池交換)
- 携帯リモコンを必要以上に操作すると、電池の消耗が早まります。

アンサーバック機能

リモートコントロールエントリーシステムによるドアの施錠・解錠を知らせる機能です。

アンサーバック機能	初期設定 (工場出荷時)		設定切替え時	
	ロック (施錠)	アンロック (解錠)	ロック (施錠)	アンロック (解錠)
非常点滅表示灯	1回点滅	2回点滅	/	/
ルームランプ (スイッチがDOOR位置)	/	約10秒間点灯	2回点滅	約10秒間点灯
車外ブザー	1回吹鳴	2回吹鳴	/	/

- リモートコントロールエントリーシステムの作動と同時にルームランプを点灯または点滅させたい場合は、ルームランプスイッチをDOOR位置にします。
- ルームランプが約10秒間点灯したあとは、徐々に減光しながら消灯します。
 - **5-34ページ** (ルームランプ)

⚠️アドバイス

- アンサーバック機能の設定切替え（カスタマイズ）については、日産販売会社にご相談ください。
- リクエストスイッチで施錠・解錠したときも、アンサーバック機能が作動します。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

タイマーロック機能

盗難防止のため、自動的にドアを施錠する機能です。

- リモートコントロールエントリーシステムで解錠したあと、約 30 秒以内にいずれのドアも開けなかったときに自動的にドアを施錠します。
- タイマーロック機能が作動すると、カーアラームが自動的にセットされます。(警報なしモード時を除く)
→ 3-22ページ (カーアラーム)

ⓘアドバイス

リクエストスイッチで解錠したときにも、タイマーロック機能が作動します。

携帯リモコン

すべてのドアが閉まっているときに、前席ドアまたはバックドアにあるリクエストスイッチを押すと、所持している携帯リモコンが車両と電波で通信を開始し、照合がとれるとドアの施錠・解錠が可能となります。

また、その他に次の機能があります。

- リモートコントロールエントリーシステム
→ 3-9 ページ (リモートコントロールエントリーシステム)
- エンジンスイッチによる始動および電源の切り替え
→ 3-72ページ (プッシュエンジンスターター)

- エンジンイモビライザー (車両盗難防止装置)

→ 3-71ページ

(エンジンイモビライザー)

注記

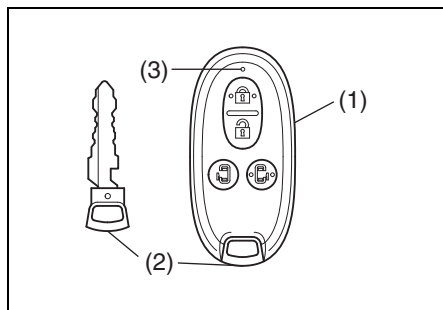
携帯リモコンが発信する電波が、携帯電話や他のリモコンなどの無線通信機器に影響をあたえることがあります。必要以上に携帯リモコンやリクエストスイッチ、エンジンスイッチの操作をしないでください。

ⓘアドバイス

- 携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。車内にリモコンを置き忘れないでください。
- 盗難などを防ぐため、携帯リモコンを紛失したときは、すみやかに日産販売会社にご相談ください。
- 携帯リモコンは車両と通信するとき、外的影響を受けやすい微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では、正常に作動しないことがあります。
 - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備がある
 - 携帯電話、無線機などの無線通信機器やノートパソコンなどと一緒に所持している
 - 携帯リモコンが金属製のものに接していたり、覆われていたりしている
 - 近くで他車のリモートコントロールエントリーシステムが使用されている
 - コインパーキングに駐車している (車両検出用の電波の影響があるため)

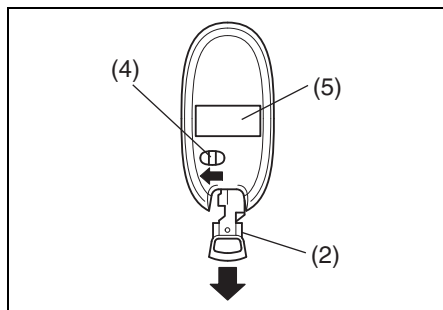
3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

携帯リモコン (1) が 2 個、リモコンに格納可能なキー (2) が 2 本ついていません。



(3) 作動表示灯

- 上図の携帯リモコンは代表例です。お車のタイプにより異なります。
- リモコンに格納されているキー (2) は、ロック解除レバー (4) を ← 方向に引きながら取り出します。



(5) 適合証明マーク

⚠ 注意

携帯リモコンの分解 (電池交換時を除く) や修理、改造をしないでください。発火や感電、けがのおそれがあります。また、法律により処罰されることがあります。

注記

携帯リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- インパネの上などの高温になるような場所に置かない
- 落下させるなどして、強い衝撃をあたえない
- 水洗いをしたり、水中に入れたりしない
- 磁気をおびたキーホルダーなどをつけない
- テレビやオーディオなど磁気をおびた機器の近くに置かない
- 電気医療機器 (マイクロ波治療器や低周波治療器など) の近くに置いたり、身につけたまま治療を受けたりしない

⚠ アドバイス

- 適合証明マークの消去、改ざんをしないでください。法律により処罰されることがあります。
- 携帯リモコンには、キーを格納してください。リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠ができなくなるおそれがあります。
- 1 台の車両で、4 個の携帯リモコンまで登録できます。
- 電池の寿命は使用状況によりますが約 2 年です。

→ 6-6 ページ

(携帯リモコンの電池交換)

- 携帯リモコンは、車両と通信するために常時受信動作をしています。強い電波を受信し続けたとき、電池を著しく消耗することがあります。(テレビやパソコンなどの強い電波を発信する電化製品の近くに置いたときなど)

- 携帯リモコンのご購入、暗証コードの登録については、日産販売会社にご相談ください。

■ 携帯リモコン電池消耗警告灯



70K122

メータパネル内にあります。

- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約 15 秒間点灯します。電池交換のうえ、警告灯をリセットしてください。
 - 3-59ページ
(警告灯・表示灯の見かた)
 - 6-6ページ
(携帯リモコンの電池交換)

⚠️ アドバイス

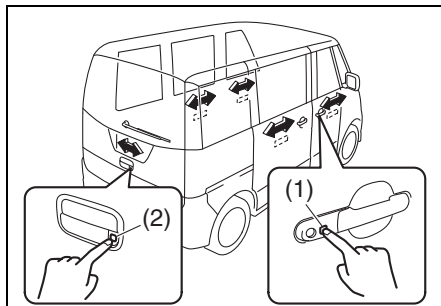
設定の切替え（カスタマイズ）をすると、点灯しなくすることもできます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。

リクエストスイッチによる ドアの施錠・解錠

すべてのドアが閉まっているときに、所持している携帯リモコンが「リクエストスイッチの作動範囲」（3-14 ページ参照）に入っていると、リクエストスイッチを押すごとに、すべてのドアを施錠・解錠できます。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。



82K30050

- (1) 前席ドアのリクエストスイッチ
(2) バックドアのリクエストスイッチ

⚠️ 警告

火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。

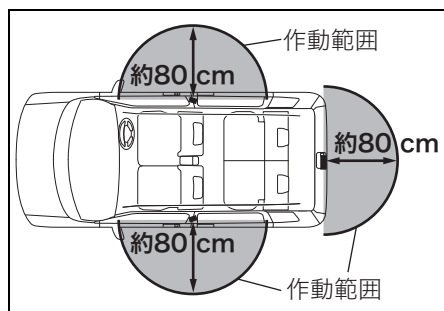
⚠️ アドバイス

- 次のようなときは、リクエストスイッチが作動しません。
 - いずれかのドアが開いている
 - エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のとき
- リクエストスイッチでドアの施錠・解錠をすると、アンサーバック機能やタイマーロック機能が作動します。
 - 3-10ページ
(アンサーバック機能)
 - 3-11ページ
(タイマーロック機能)
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難などのおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

リクエストスイッチの作動範囲 (車外)

前席ドアまたはバックドアのリクエストスイッチ付近から半球状に周囲約80 cm以内です。



⚠️アドバイス

●「リクエストスイッチの作動範囲」

で携帯リモコンを所持していても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチが作動しない場合があります。

- 携帯リモコンの電池が消耗している
 - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - 携帯リモコンがドアに近づきすぎている
 - 携帯リモコンが地面の近くや高い位置にあったり、お尻のポケットの中などにあたりして、リクエストスイッチから離れている
- 車内に予備の携帯リモコンがあると、そのリモコンが検知され、リクエストスイッチが正常に作動しなくなるおそれがあります。

リクエストスイッチ未作動 警告ブザー

次のようなときは車外ブザーが「ピー」と約2秒間鳴って、リクエストスイッチが未作動であることを警告します。

- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** の状態で、すべてのドアを閉め、リクエストスイッチを押したとき
- エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にしたあと、次のような状況でリクエストスイッチを押したとき
 - 携帯リモコンを車内に置き忘れてある
 - いずれかのドアが開いている→ **3-59ページ (半ドア警告灯)**

エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にして携帯リモコンを車外に持ち出し、すべてのドアを完全に閉めたことを確認してから、再度リクエストスイッチを押してください。

携帯リモコン閉じ込み防止 機能

「キーを使わない施錠」(3-7ページ参照)で、携帯リモコンを閉じ込んでしまうのを防止する機能です。

- 携帯リモコンを車内に置き忘れた状態で、「キーを使わない施錠」ですべてのドアを施錠しようとする、自動的にすべてのドアが解錠されます。

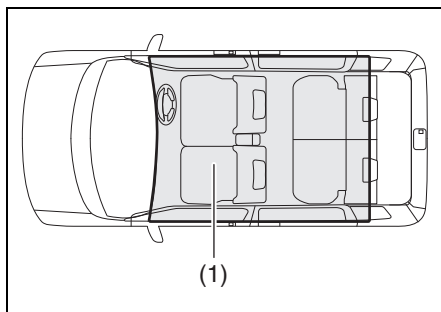
3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

⚠️ アドバイス

- 「キーを使わない施錠」をするときは、携帯リモコンが手元にあるか確認してください。リモコンを閉じ込むおそれがあります。
- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときは、携帯リモコンの位置に関係なく、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動します。
- バッテリーが完全にあがっているときや接続されていないときは、携帯リモコン閉じ込み防止機能は作動しません。

リクエストスイッチ未作動警告ブザー/携帯リモコン閉じ込み防止機能の検知範囲(車内)

「車内の検知範囲」(1)は、インパネの上や荷室などを除く車室内です。



⚠️ アドバイス

- 「車内の検知範囲」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。
 - 携帯リモコンの電池が消耗している
 - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - 携帯リモコンが次のような小物入れの中にある
 - ・フロントセンターアームレストボックス
 - ・インパネセンターボックス
 - ・保冷機能付助手席アッパーボックス
 - ・グローブボックス
 - ・ドアポケット
 - 携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床にある
- 「車内の検知範囲」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動する場合があります。
 - 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
 - 携帯リモコンがインパネの上や荷室にある

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

スライドドアクローザー

スライドドアクローザーは、スライドドアを完全に閉めるための補助機能です。スライドドアを半ドアの状態まで閉めると、この機能が作動して自動的に全閉になります。

- パワースライドドアは、パワースライドドアメインスイッチを **OFF** にするなどして手動開閉に切り替えたあとでも、スライドドアクローザーが作動します。

→ 3-18 ページ (パワースライドドアメインスイッチ)

- パワースライドドアは安全のため、スライドドアクローザー作動中に車内または車外のドアハンドルを引くと、作動を途中で停止できます。ただし、作動を途中で停止させると、半ドアとなる場合があります。ドアを一度開けて再び閉めて、ドアが完全に閉まっているか確認してください。

警告

スライドドアが半ドア状態から自動的に全閉になります。指などはさまないように気をつけてください。



82K002

注意

クローザー機能だけがあるスライドドア (パワースライド機能なし) の場合、次のようなときには作動を途中で停止できません。指などはさまないように、とくに注意してください。

- ロックレバーが施錠側にあるときに、車内または車外のドアハンドルを引く
- チャイルドセーフティドアロックのレバーがLOCK位置にあるときに、車内のドアハンドルを引く

注記

スライドドアクローザーはモーターの駆動力を利用しているため、エンジン停止状態で必要以上に使用すると、バッテリーあがりの原因となります。また、バッテリーの性能が低下しているときは、作動しない場合があります。

アドバイス

スライドドアクローザー作動中にエンジンを始動すると、クローザーが正常に作動しない場合があります。

パワースライドドア

タイプ別装備

パワースライドドア解錠後、ドアハンドル、運転席にあるスイッチ、または携帯リモコンの操作により、自動開閉が可能です。

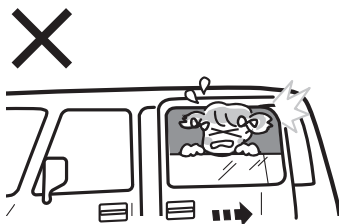
- タイプにより、助手席側のスライドドアだけに装備されている車両と、両側のスライドドアに装備されている車両があります。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

- 自動開閉するときは、ドアハンドルなどの操作をする前に、運転席にあるパワースライドドアメインスイッチを **ON** にする必要があります。
→ **3-18 ページ (パワースライドドアメインスイッチ)**
- 自動開閉中は、周囲に注意をうながすため、警告ブザーが“ピッピッピッ”と断続的に鳴り続けます。
- パワースライドドアが施錠されていると、自動で開けられません。先にドアを解錠してください。
- 急な坂道では、パワースライドドアを自動開閉できない場合があります。
- 自動開閉中にエンジンを始動すると、パワースライドドアが正常に作動しなくなる場合があります。

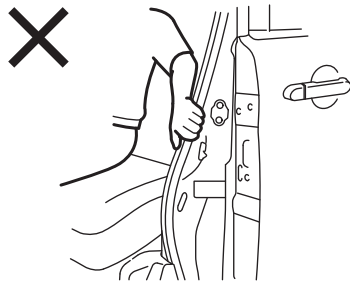
⚠ 警告

- パワースライドドアを開けるときは、後席窓から手や頭などの身体を出さないでください。身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



82K20020

- パワースライドドアの開閉は、車外および車内のスライドドア周囲の安全を十分に確認してから行ってください。ドアに手足や頭などの身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



82K045

- パワースライドドアの開閉はお子さまではなく大人が行ない、お子さまの身体をはさまないように気をつけてください。



82K002

- パワースライドドアは、走行中に自動開閉できないようになっていますが、次の条件をみたすと自動開閉する場合があります。完全に停車したことを確認してから操作してください。車が動いているときの開閉は、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 車速が約3 km/h以下
 - パーキングブレーキがかかっているか、ブレーキペダルを踏んでいる

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

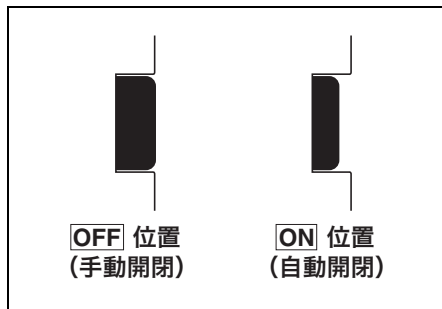
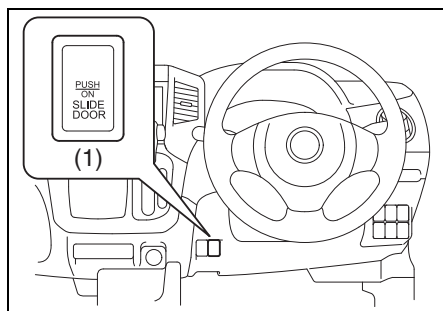
注記

- ドアが凍結しているときは、パワースライドドアが開閉可能かを手動で確認してから、自動開閉操作を行なってください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。
→ 6-9ページ（ドアの凍結）
- パワースライドドアは、モーターの駆動力を利用しているため、必要以上に使用するとバッテリーあがりの原因となります。また、バッテリーが弱っているときは、作動しない場合があります。

パワースライドドアメインスイッチ

パワースライドドアは、パワースライドドアメインスイッチ（1）を押すことによって、自動開閉（**ON**）と手動開閉（**OFF**）に切り替えられます。

- 通常は **ON** 位置（自動開閉）にしておきます。



警告

パワースライドドアメインスイッチが **OFF** のときでも、スライドドアクローザーは作動します。指などははさまないように気をつけてください。
→ 3-16ページ
(スライドドアクローザー)

注意

- 自動開閉中に、パワースライドドアメインスイッチを **OFF** にするなどして手動開閉に切り替えると、ドアが途中で停止し、警告ブザーが鳴ります。坂道などの傾斜地の場合、途中で停止したドアが不意に動き出すおそれがあります。十分に注意して開閉操作を行なってください。
- 後輪のタイヤ交換などをするときには、安全のため、パワースライドドアメインスイッチを **OFF** にしてください。誤って自動開閉してしまうと、手などの身体をはさまれ、けがのおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

■ メインスイッチが **ON** でもこんなときは自動開閉ができません

安全のため、次のようなときはメインスイッチが **ON** でも自動開閉ができません。

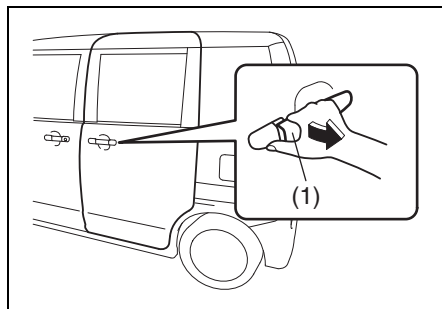
- 車が動いている（車速3 km/h以上）
- エンジンスイッチが **ON** のときに、下記条件のいずれも満たさない場合
 - パーキングブレーキがかかっている
 - ブレーキペダルを踏んでいる
 - セレクトレバーが **P** 位置
- パワースライドドアを開けたままバッテリーを外すなどしてシステムへの電源供給を一度絶ち、再びバッテリーを接続するなどして、ドアを全閉にするまで
- タッチセンサーが断線している（断線時でも自動で開くことは可能）
- 助手席側スライドドアの場合、フューエルリッドが開いている
→ **3-31ページ（フューエルリッド）**

📌 アドバイス

前記のようなときに、ドアハンドルで手動開閉すると警告ブザーが“ピー”と鳴って、ドアにブレーキがかかったような状態になることがあります。（断続クラッチ制御）これは坂道の影響などで手動開閉時にドアが急開閉するのを防ぐためであり、異常ではありません。

車外のドアハンドルによる自動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、車外のドアハンドル（1）を引くと、自動開閉ができます。



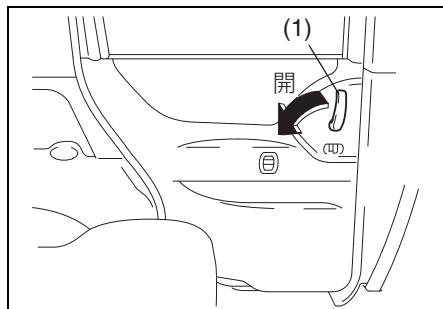
82K067

- 自動開閉中に車外のドアハンドルを引くと、パワースライドドアの動く方向は反転し、全開または全閉になります。ただし、パワースライドドア作動開始直後にドアハンドルを引くと、反転しない場合があります。
- パワースライドドアが途中まで開いて停止している状態では、車外のドアハンドルを引いても自動開閉ができません。その場合、一度ドアを手動で全閉または全開にしてから再度ドアハンドルを引くと、自動開閉ができます。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

車内のドアハンドルによる 自動開閉

- パワースライドドアが解錠状態の全閉時に、車内のドアハンドル (1) を開く方向 (車の後ろ方向) に倒すと、自動で開けます。



82K184

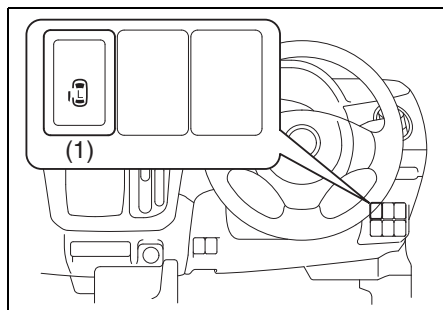
- パワースライドドアが全開のときは、車内のドアハンドルを前後どちらかに倒すと、自動で閉められます。
- 自動開閉中に車内のドアハンドルを前後どちらかに倒すと、パワースライドドアの動く方向は反転し、全開または全閉になります。ただし、パワースライドドア作動開始直後にドアハンドルを倒すと、反転しない場合があります。
- パワースライドドアが途中まで開いて停止している状態では、車内のドアハンドルを倒しても自動開閉ができません。その場合、一度ドアを手動で全閉または全開にしてから再度ドアハンドルを倒すと、自動開閉ができます。

パワースライドドアスイッチ による自動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、運転席にあるパワースライドドアスイッチを 0.5 秒以上押すと、自動開閉ができます。

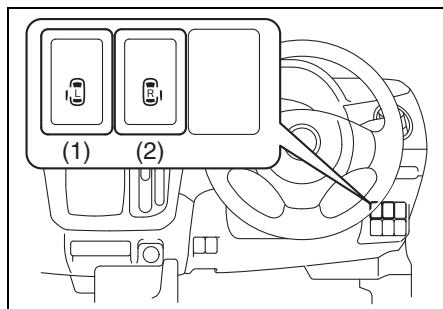
- タイプにより、スイッチの位置は次の図のどちらかになります。

助手席側パワースライドドア装備車



82K185

両側パワースライドドア装備車



82K30610

- (1) 助手席側パワースライドドアスイッチ
- (2) 運転席側パワースライドドアスイッチ

- スイッチは長押ししてください。(0.5 秒以上) スイッチを押している時間が短いと、警告ブザーが“ピー”と鳴るだけで、自動開閉ができません。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

アドバイス

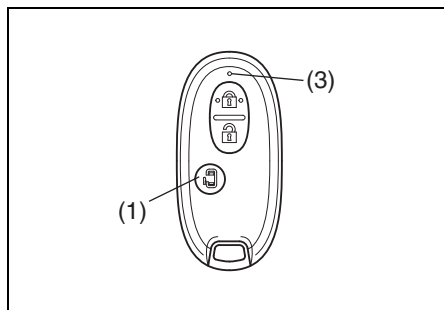
- 自動開閉中にもう一度スイッチを押すと、ドアの動く方向は反転し、全開または全閉になります。ただし、パワースライドドア作動開始直後にスイッチを押すと、反転しない場合があります。
- パワースライドドアが途中で開いて停止しているときにスイッチを長押しすると、自動的に全開になります。全閉にしたい場合は、再度スイッチ操作をしてください。

携帯リモコンによる自動開閉

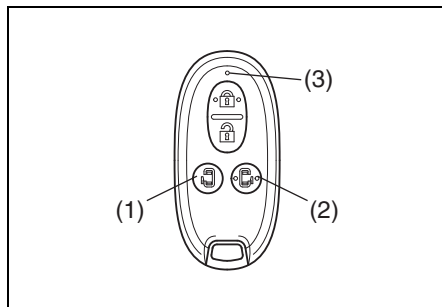
パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、携帯リモコンのパワースライドドアボタンを1秒以上押し、自動開閉ができます。

- タイプにより、ボタンの位置は次の図のどちらかになります。

助手席側パワースライドドア装備車



両側パワースライドドア装備車



- (1) 助手席側パワースライドドアボタン
- (2) 運転席側パワースライドドアボタン
- (3) 作動表示灯

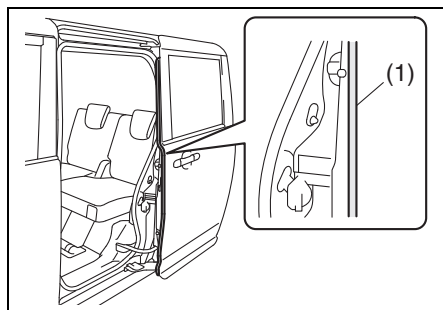
- ボタンは長押ししてください。(1秒以上) ボタンを押している時間が短いと、警告ブザーが“ピー”と鳴るだけで、自動開閉ができません。
- 自動開閉中にもう一度ボタンを押すと、ドアの動く方向は反転し、全開または全閉になります。ただし、パワースライドドア作動開始直後にボタンを押すと、反転しない場合があります。
- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときは、携帯リモコンによる自動開閉ができません。
- パワースライドドアが途中で開いて停止しているときにボタンを長押しすると、自動的に全開になります。全閉にしたい場合は、再度ボタン操作をしてください。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

はさみ込み防止機構

パワースライドドアには、自動開閉するときの安全装置として、はさみ込み防止機構があります。

- 自動で閉めているときに、ドア前端部のタッチセンサー(1)が異物のはさみ込みを検知すると、ドアの動く方向は反転し、全開になります。
- 自動開閉中に、異物をはさみ込むなどしてドアに一定以上の負荷がかかると、ドアの動く方向は反転し、全開または全閉になります。(過負荷検知方式)
- 自動開閉中に、2回以上はさみ込みを検知すると警告ブザーが鳴り、パワースライドドアが手動開閉に切り替わる場合があります。再度、自動開閉に切り替えるには、一度ドアを全開または全閉にする必要があります。
- タッチセンサーに手などを強く触れたままにしていると、パワースライドドアを自動で閉められません。



82K30070

(1) タッチセンサー

警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては、タッチセンサーで検知できなかったり、過負荷検知されなかったりして、はさみ込み防止機構が作動しない場合があります。重大な傷害を受けるおそれがありますので、十分に注意して開閉操作を行なってください。

注意

全閉直前または全開直前の位置では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などははさまないように気をつけてください。

注記

パワースライドドア前端部のタッチセンサーは、刃物などの鋭利なもので傷つけないでください。タッチセンサーが切断されると、自動で閉められなくなります。

カーアラーム

カーアラームは、ドアをリクエストスイッチまたはリモートコントロールエントリーシステムで施錠すると、約20秒後にセットされます。

セット状態にて、リクエストスイッチまたはリモートコントロールエントリーシステム以外のもの(※)で解錠し、いずれかのドアを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

※キーやロックレバーを含む

3. 運転装置の取扱い／警報装置

- 工場出荷時は、＜警報モード＞になっています。任意で＜警報なしモード＞に切り替えてください。

→ 3-24ページ

(モード設定の切替えのしかた)

- 警報を誤作動させたときは

→ 3-24ページ

(警報の停止のしかた)

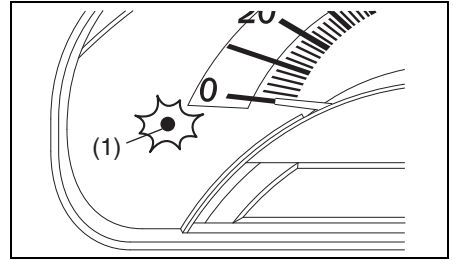
⚠️アドバイス

- カーアラームは、一定の条件下で警報を発する機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- アラームのセット中は、ドアを必ずリクエストスイッチまたはリモートコントロールエントリーシステムで解錠してください。キーを使ってドアを解錠すると、警報が作動します。
- 車を貸すときや、カーアラームを知らない方が運転するときは、作動についてよく説明するか、アラームを＜警報なしモード＞に切り替えてください。誤って警報を作動させると、周囲への迷惑になります。
- アラームをセットしていても、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

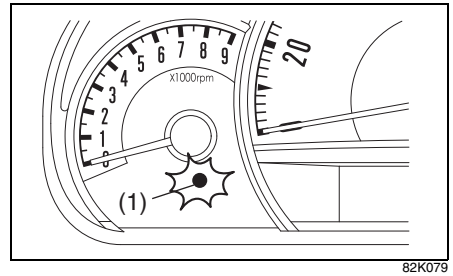
カーアラームのセットのしかた (警報モード時)

ドアをリクエストスイッチまたはリモートコントロールエントリーシステムで施錠してください。セキュリティインジケータ (1) が小刻みに点滅し、約 20 秒後にアラームがセットされます。セット中は、セキュリティインジケータが2秒間隔で点滅します。

タコメーターなし車



タコメーター装備車



⚠️アドバイス

- 警報の思わぬ作動を防ぐため、車内に人が残っているときはアラームをセットしないでください。車内の人がロックレバーで解錠し、いずれかのドアを開けた場合にも警報が作動します。
 - すべてのドアをキーまたはロックレバーで施錠すると、アラームがセットされません。
 - タイマーロック機能が作動すると、アラームが自動的にセットされます。(警報なしモード時を除く)
- 3-11ページ

(タイマーロック機能)

3. 運転装置の取扱い／警報装置

カーアラームの解除のしかた

ドアをリクエストスイッチまたはリモートコントロールエントリーシステムで解錠してください。アラームが解除され、セキュリティインジケーターが消灯します。

警報の停止のしかた

警報を誤作動させたときは、エンジンスイッチを **[ON]** にしてください。警報を途中で停止できます。

⚠️ アドバイス

- 警報を停止した場合でも、ドアをリクエストスイッチまたはリモートコントロールエントリーシステムで施錠すると、約20秒後にアラームが再びセット状態となります。
- アラームセット状態または警報作動状態でバッテリー端子を外すと、警報が停止します。ただし、再度バッテリー端子を接続すると、警報が作動します。
- 警報が終了しても、アラームの解除をせずにいずれかのドアを開けると、再び警報が作動します。

駐車時に警報が作動した場合

盗難などにより警報が作動した場合、エンジンスイッチを **[ON]** にすると、セキュリティインジケーターが約8秒間小刻みに点滅し、室内ブザーが4回鳴ります。盗難にあっていないか車の中を確認してください。

カーアラームモード

<警報モード>と<警報なしモード>の2つのモードがあります。警報の作動は次のようになります。

<警報モード>（工場出荷時）
非常点滅表示灯が約40秒間点滅するとともに、室内ブザーが約10秒間断続的に鳴ります。室内ブザーが鳴り終わると、ホーンが約30秒間断続的に鳴ります。

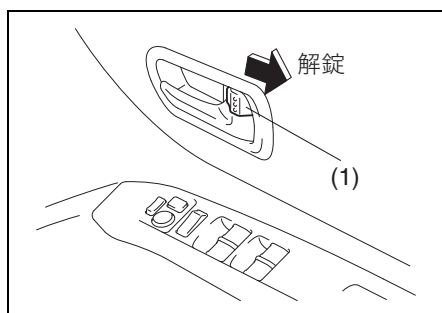
<警報なしモード>
警報は作動しません。

※<警報モード>では、セキュリティインジケーターも点滅します。

モード設定の切替えのしかた

次の手順で切り替えてください。

- 1 すべてのドアを閉め、ロックレバー(1)を解錠側（車の後ろ方向）にします。ライトスイッチをOFFの位置にします。




82K188

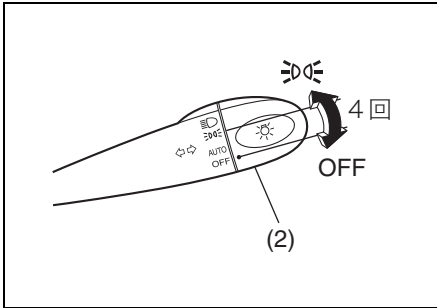
3. 運転装置の取扱い／警報装置

⚠️ アドバイス

解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。

※次の②から③までの一連の手順は、15秒以内に完了してください。

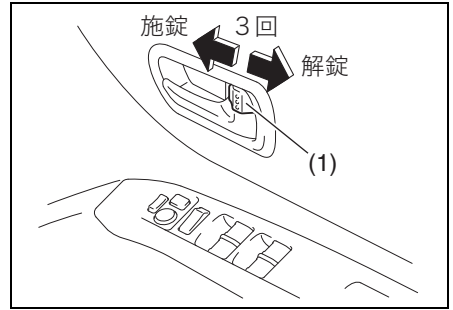
- ② ライトスイッチ (2) を  の位置にします。ライトスイッチを再びOFFの位置にします。これらの操作を4回行ない、最後にライトスイッチをOFFの位置にします。



82K346

- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。
→ 3-62ページ (ライトスイッチ)

- ③ ロックレバー (1) を施錠側 (車の前方向) にして施錠します。ロックレバーを解錠側 (車の後ろ方向) にして解錠します。これらの操作を3回行ない、最後に施錠状態にします。



82K30620

前記の手順を行なうと、モード設定が次表の順で切り替わります。また、設定確認ブザーの回数によって設定状態が確認できます。

モード設定状態	設定確認ブザー
警報なしモード	1回
	↕
警報モード	4回

⚠️ アドバイス

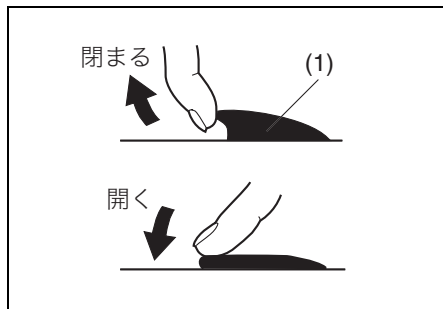
- アラームがセット状態のときは、モード設定の切替えはできません。
- ②から③までの手順を15秒以内にできなかったときは、はじめからやりなおしてください。
- モード設定を切り替えるときは、すべてのドアを閉めたまま行なってください。

3. 運転装置の取扱い/各部の開閉

パワーウィンドー

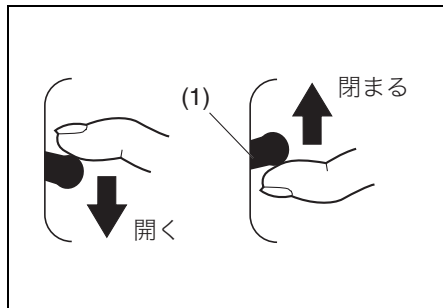
エンジンスイッチが **ON** のときに、パワーウィンドースイッチ (1) を操作すると、ウィンドーの開閉ができます。

前席ドア



80J1266

後席ドア



82K30080

警告

- パワーウィンドーは強い力で開閉します。閉めるときは手や首をはさまないように注意してください。
- 窓から手を入れてパワーウィンドースイッチを操作しないでください。手や首をはさむおそれがあります。

注意

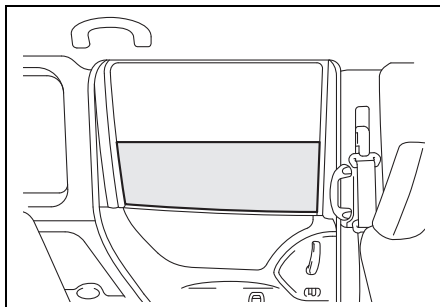
ウィンドーガラスを開閉するときは、ガラスにふれないでください。巻き込まれるおそれがあります。

注記

バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときにウィンドーを開閉してください。

アドバイス

- 走行中に後席ウィンドーだけを開けていると、耳を圧迫するような音が発生する場合があります。これは開いているウィンドー周辺の気圧変動にともなう現象で、異常ではありません。空のビンなどの口に、横から息を吹きかけたときに音が鳴る現象と同じです。後席ウィンドーを開けたままでこの音を軽減したい場合は、次のような方法があります。
 - 前席ウィンドーも開ける。
 - 後席ウィンドーの開き具合を変える。
- 後席ウィンドーは、中間位置までしか開きません。

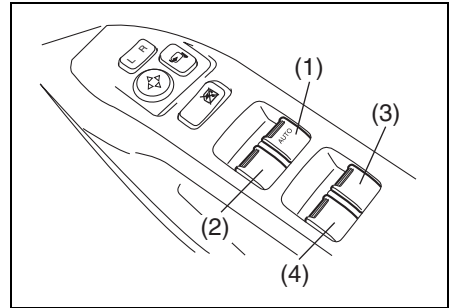


82K30090

3. 運転装置の取扱い/各部の開閉

運転席での開閉

各席のウィンドーが開閉できます。

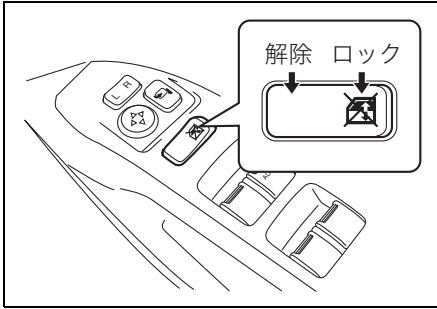


- (1) 運転席ウィンドースイッチ (オート機構付)
- (2) 助手席ウィンドースイッチ
- (3) 右後席ウィンドースイッチ
- (4) 左後席ウィンドースイッチ

■ ウィンドーロックスイッチ

運転席ドアにあるウィンドーロックスイッチ (1) の **ロック** 側を押すと、助手席/後席ウィンドーの開閉ができなくなります。

- ロックを解除するときは、ウィンドーロックスイッチの **解除** 側を押します。



⚠ 警告

お子さまにはパワーウィンドースイッチを操作させないでください。お子さまが誤って操作すると、重大な傷害につながるおそれがあります。お子さまを乗せているときは、ウィンドーロックスイッチを **ロック** 位置にしてください。

📌 アドバイス

ウィンドーロックスイッチが **ロック** 位置のときでも、運転席ウィンドーは開閉できます。

■ 運転席ウィンドーの開閉 (オート機構付)

- ウィンドースイッチを軽く操作すると、操作している間だけ開閉します。スイッチから手を離すと、ウィンドーはその位置で止まります。
- ウィンドースイッチを強く操作すると、オート機構が作動してスイッチから手を離しても自動で全開または全閉します。途中で止めたいときは、操作した方向と逆の方向に軽く操作します。

3. 運転装置の取扱い/各部の開閉

■ 運転席ウインドーのキーOFF後作動機能

運転席ウインドーは、エンジンスイッチを **ON** の位置から **ACC** または **LOCK** (OFF) にしたあとでも、30秒以内は開閉が可能です。

⚠️ アドバイス

- 30秒以内でも、運転席ドアを開けて閉めると、運転席ウインドーの開閉ができません。
- 運転席ウインドーの開閉が可能な間は、運転席ウインドースイッチの“**AUTO**”の文字が点灯しています。

■ 助手席/後席ウインドーの開閉

ウインドースイッチを操作している間だけ開閉します。スイッチから手を離すと、ウインドーはその位置で止まります。

■ はさみ込み防止機構

運転席ウインドーには安全装置として、はさみ込み防止機構があります。

- オート機構を作動させて自動で閉めているときに、異物をはさみ込むなどしてウインドーに一定以上の負荷がかかると、ウインドーの動く方向が反転し、少し開いて停止します。(過負荷検知方式)

⚠️ 警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては過負荷検知されず、はさみ込み防止機構が作動しない場合があります。重大な傷害を受けるおそれがありますので、十分に注意して開閉操作を行ってください。

⚠️ 注意

はさみ込み防止機構は、スイッチを引き上げ続けた状態では作動しません。また、閉まり切る直前は、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように気をつけてください。

⚠️ アドバイス

- ウインドーの故障で、はさみ込み防止機構が作動し、自動で閉めることができない場合があります。この場合、運転席ウインドースイッチを引き上げ続けると、完全に閉めることができます。
- 悪路などを走行中にウインドーを自動で閉めると、衝撃や荷重がウインドーに加わって、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

■ はさみ込み防止機構の初期設定のしかた

バッテリー端子やヒューズ(7-15ページ参照)を外すなどして、パワーウインドーシステムへの電源供給を一度絶ってしまうと、運転席ウインドーが自動で開かなくなるとともに自動で閉めたときに、はさみ込み防止機構が作動しなくなってしまう。

この場合、次の手順ではさみ込み防止機構の初期設定を行ってください。また、運転席ウインドーが自動で開くことも閉めることもできなくなった場合も、同様に初期設定を行ってください。

- 1 エンジンを始動します。
- 2 運転席ウインドースイッチを押し続け、ウインドーを完全に開けます。
- 3 運転席ウインドースイッチを引き上げ続け、ウインドーを完全に閉めます。

3. 運転装置の取扱い／各部の開閉

- 4 そのままスイッチを2秒以上引き上げ続けます。
- 5 運転席ウインドーが自動開閉できるようになったか確認します。

警告

はさみ込み防止機構は、必ず初期設定してください。初期設定が完了するまでは、はさみ込み防止機構が動作しません。

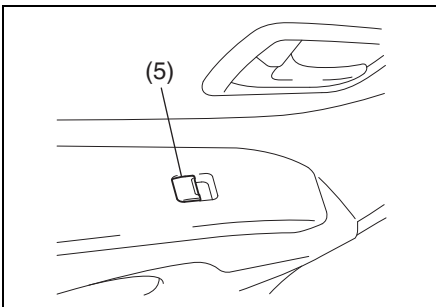
- 手順①～④を何度繰り返しても運転席ウインドーが自動開閉できない場合、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

助手席、後席での開閉

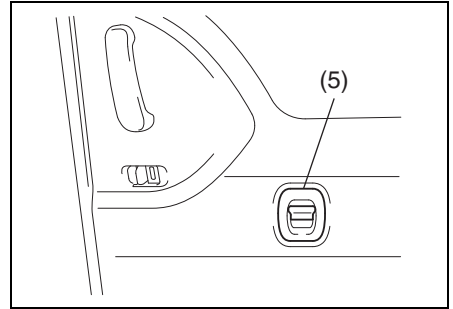
自席のウインドーだけ開閉できます。

- ウインドースイッチ (5) を操作している間だけ開閉します。スイッチから手を離すと、ウインドーはその位置で止まります。
- お子さまを乗せているときは、運転席ドアのウインドーロックスイッチを **ロック** 位置にしてください。
→ 3-27ページ
(ウインドーロックスイッチ)

助手席



後席



アドバイス

ウインドーロックスイッチが **ロック** 位置のときは、助手席／後席ウインドーの開閉ができません。

各部の開閉

ボンネット

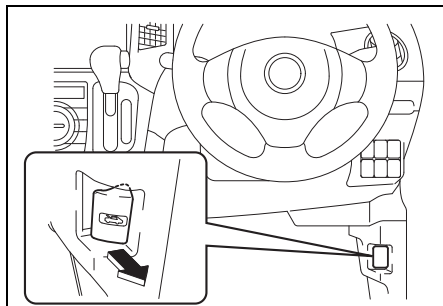
警告

- お子さまにはボンネットを開閉させないでください。ボンネットは重いため、けがのおそれがあります。また、エンジンルーム内は高温になるため、やけどのおそれがあります。
- ボンネットを開けているときは、お子さまを近づけないでください。
- 点検や清掃に使用した工具や布などは、エンジンルーム内に置き忘れないでください。故障の原因となったり、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながったりするおそれがあります。

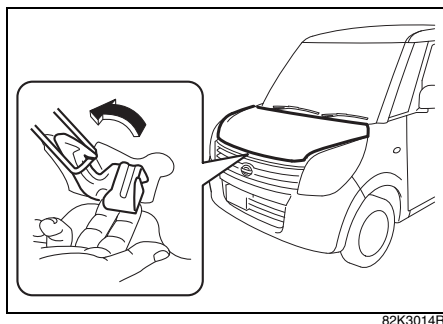
3. 運転装置の取扱い/各部の開閉

開けかた

- 1 運転席足元のボンネットオープナーを引くと、ボンネットの先端が少し浮き上がります。



- 2 浮き上がったボンネットのすき間に手を入れ、ロックレバーを左側へ押し付けながら、ボンネットを持ち上げます。



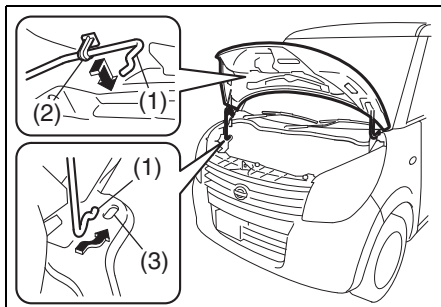
⚠ 注意

エンジン回転中や停止直後は、ロックレバーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ロックレバーを操作する前に確認してください。

注記

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。ワイパーアームやボンネットが傷つくおそれがあります。

- 3 ボンネットを固定します。
- ボンネット側にあるステー (1) をホルダー (2) から外し、車体側の固定穴 (3) に差し込みます。



⚠ 注意

- エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ステーを持つ前に確認してください。
- ステーは固定穴に確実に差し込んでください。ステーが外れると、ボンネットに身体がはさまれることがあります。
- ボンネットが風にあおられて、ステーが外れることがあります。とくに風の強い日は注意してください。

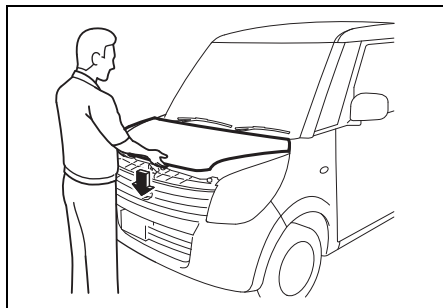
注記

ステーをホルダーから外すときは、ステーが曲がらないように、ステーの先端から7cm以内のところを持ってください。

3. 運転装置の取扱い／各部の開閉

閉めかた

- 1 ボンネットを片手でささえながら、ステーを外して、もとのホルダーに固定します。
- 2 ボンネットを閉めます。
 - ボンネットを20 cmぐらいの高さまでゆっくりと下げて、手を離します。



82K042R

▲ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などはさまないように気をつけてください。また、強く押さえると、ボンネットがへこむおそれがあります。
- ボンネットが完全に閉まっているか確認してください。完全に閉まっていないと、走行中に開くおそれがあります。

燃料給油口

2-18 ページの「給油するときは」もあわせてお読みください。

▲ 警告

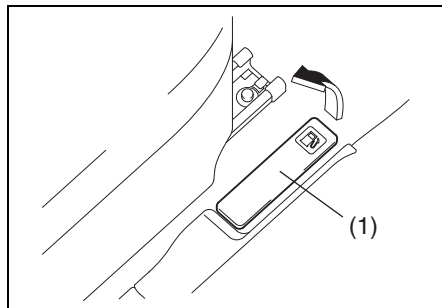
- 必ず次のことをお守りください。
- エンジンを止めてください。
 - 給油中はドアや窓を閉めてください。

- ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。

フューエルリッド

助手席側の車両後方にあります。

- 開けるときは、運転席足元のフューエルリッドオープナー (1) を引き上げます。
- 閉めるときは、フューエルリッドを手で押し付けます。
- フューエルリッドが開いていると、干渉防止のため、助手席側スライドドアは少ししか開きません。また、パワースライドドア装備車では、助手席側のパワースライド機能が作動しません。



82K088

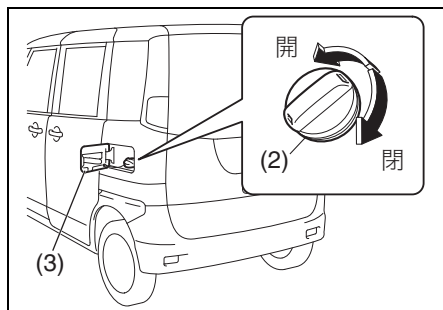
注記

助手席側スライドドアが全開しているときに、フューエルリッドを開けないでください。ドアの内側に当たり、破損するおそれがあります。

フューエルキャップ

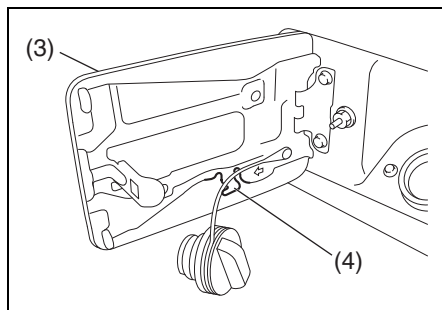
- 開けるときは、ゆっくり反時計方向にまわします。
- 閉めるときは時計方向にまわし、カチッという音が2回以上するまで締めます。

3. 運転装置の取扱い/各部の開閉



82K316

- (2) フューエルキャップ
- (3) フューエルリッド



82K371

- (4) キャップホルダー

⚠ 警告

- フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まったらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。
- 燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちに柔らかい布などでふき取ってください。火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。
- 給油後は、フューエルキャップをしっかりと閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。
- 指定の日産純正フューエルキャップ以外は使用しないでください。燃料漏れのおそれがあります。

キャップホルダー

フューエルリッド(3)の裏側にあります。

- 給油中は外したキャップが車体にあたらないように、ひもの部分をかけてください。

前席シート

- 5-40ページ
(フロントセンターアームレスト)

⚠ 注意

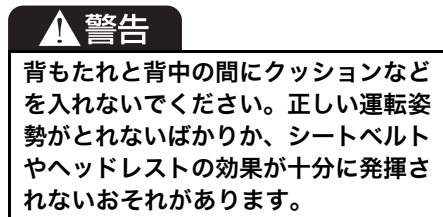
- シートを調節するときは、手足をはさんだり、身体に当てたりしないように気をつけてください。
→ 2-9ページ (ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に)
- シートを調節したあとは、シートを前後にゆるするなどして、確実に固定されているか確認してください。

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように、次のことに注意してシートを調節してください。

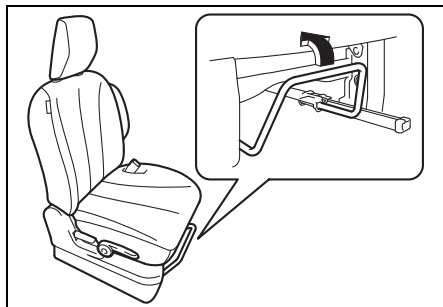
- 背もたれと腰の間にすき間のないようにシートに深くすわります。
- ペダル類を踏み込んだときに、ひざが伸びきらないで余裕があるようにシートを前後に調節します。
- 背中を背もたれに軽くつけ、ハンドルを握ったときにひじが軽く曲がる程度に背もたれの角度を調節します。

3. 運転装置の取扱い/シートの調節



前後位置の調節

スライドレバーを引き上げたまま、シー
トを前後に動かします。



警告

シートの下に物を置かないでくださ
い。物がはさまって、シートが固定さ
れないおそれがあります。(助手席
シートアンダーボックス内を除く)

背もたれの角度調節

- 後方へ倒すときは、リクライニングレ
バーを引き上げたまま、背中軽く押
します。
- 前方へ起こすときは、背中を少し浮か
せて、リクライニングレバーを引き上
げます。



警告

背もたれを必要以上に倒さないでくだ
さい。シートベルトやSRSエアバッ
グシステムが本来の効果を発揮できま
せん。

注意

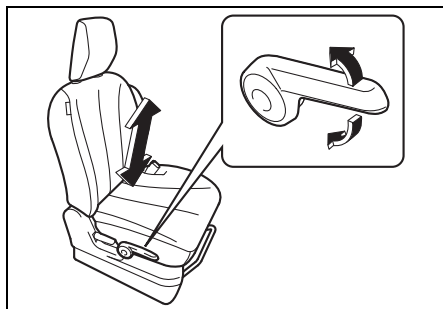
背もたれから離れてリクライニングレ
バーを操作すると、背もたれが急に起
きあがって前方に倒れることがありま
す。手などをそえて操作してください。

3. 運転装置の取扱い/シートの調節

高さの調節 (運転席のみ)

運転席シート右横のレバーをくりかえし操作します。

- レバーを引き上げると、シート全体が高くなるとともに前方へ動きます。
- レバーを押し下げると、シート全体が低くなるとともに後方へ動きます。



82K30180

ヘッドレストの高さ調節と 取外し・取付け

■ 高さの調節

走行前に、ヘッドレスト中央の高さが耳の位置になるように調節し、しっかりと固定します。背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

- 高くするときは、ヘッドレストを手で持ち上げます。
- 低くするときは、ロックボタン (1) を押したままヘッドレストを押し下げます。

■ 取外しかた

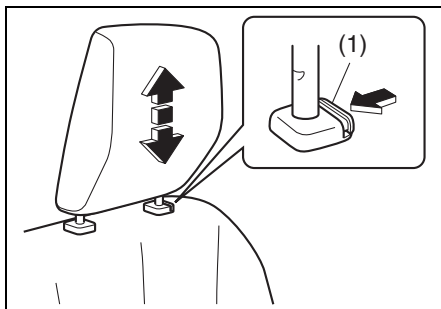
ロックボタン (1) を押したまま引き抜きます。

⚠ 警告

ヘッドレストを外したまま、走行しないでください。

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。



82K30190

(1) ロックボタン

⚠ 警告

ヘッドレストは、しっかりと固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けしないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。

ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。

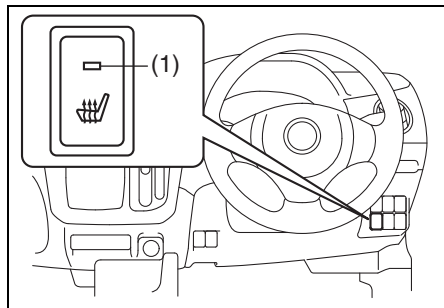
運転席ヒーターシートスイッチ

タイプ別装備

エンジンスイッチが **ON** のときに使用できます。

3. 運転装置の取扱い/シートの調節

- スイッチを押すと、シート内にあるヒーターが作動して、スイッチ内の表示灯 (1) が点灯します。
もう一度押すとヒーターが切れます。
- シートが適温になったら、スイッチを切ってください。



82K30200

▲ 注意

- 長時間ヒーターを使用すると、低温やけど (水ぶくれなど) の原因になります。
- 毛布や座ぶとんなど、保温性の高いものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。

注記

- シートの上に重い荷物を置いたり、針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- シートをお手入れするときは、ベンジン、ガソリンおよびアルコールなどの溶剤を含む洗浄液を使用しないでください。シート表面やヒーターが損傷する原因となります。
→ 6-3ページ (内装のお手入れ)
- 水やジュースなどをこぼしたときは、柔らかい布などでふき取り、十分に乾かしてからご使用ください。

- バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときに使用してください。

⚠️ アドバイス

ヒーターには、自動的にスイッチが切れるタイマー機能がありません。また、スイッチを切らないと、エンジンスイッチを **ON** にするたびにヒーターが自動的に入ります。

長い荷物を積むとき (助手席シート)

後席シートの格納のあとに、助手席の背もたれを前方へ倒すと、より長い荷物が積めます。

→ 3-38ページ

(後席シートの格納のしかた)

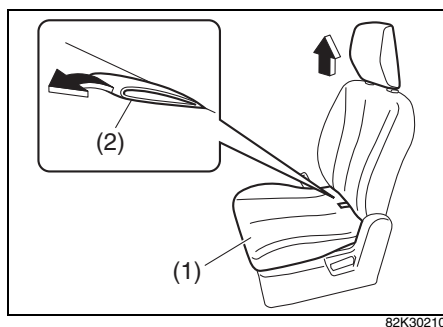
▲ 警告

- 前方へ倒した背もたれの上に、人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに投げ出されてけがのおそれがあります。また、シートが破損する原因となります。
- 背もたれを前方へ倒したときは、荷物を確実に固定してください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、荷物が飛び出して身体に当たるおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/シートの調節

■ 背もたれの前方への倒しかた

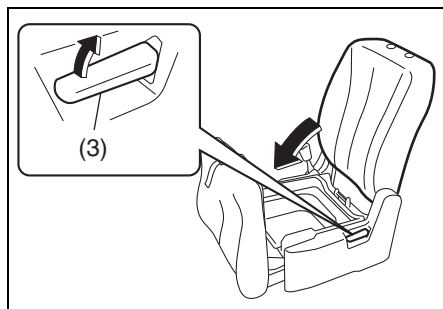
- 1 格納した後席シートに当たるまで、助手席シートを後方へスライドさせます。
- 2 ヘッドレストを外します。クッション (1) の後部についているバンド (2) を引き上げて固定を外し、クッションを車の前方向へ起こします。
 - バンドが引き上げにくいときは、背もたれを後方へ倒します。



注記

起こしたクッションに、力を加えないでください。クッション取付部が損傷するおそれがあります。

- 3 リクライニングレバー (3) を引き上げ、背もたれを前方へいっぱいまで倒します。



アドバイス

ヘッドレストを外さずに背もたれを前方へ倒すと、グローブボックスの開閉などができなくなる場合があります。

■ もとにもどすときは

「背もたれの前方への倒しかた」と逆の手順で行ないます。

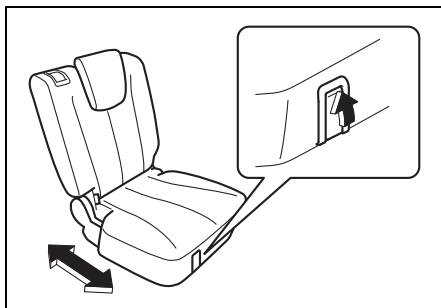
後席シート

注意

- シートを調節するときは、手足ははさんだり、身体に当てたりしないように気をつけてください。
- シートを調節したあとは、シートを前後にゆするなどして、確実に固定されているか確認してください。

前後位置の調節

スライドレバーを引き上げたまま、シートを前後に動かします。



⚠ 警告

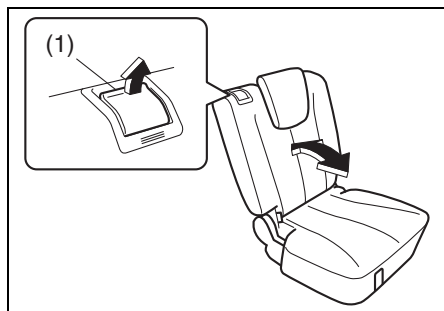
シートの下に物を置かないでください。物がはさまって、シートが固定されないおそれがあります。

背もたれの角度調節

1 片方の手を背もたれにそえ、もう一方の手で背もたれ上面にあるロックレバー (1) をいっぱい引き上げます。

- シートからおりて操作してください。シートにすわったままロックレバーを引き上げると、背もたれが急に最大角度まで倒れ込むことがあります。
- ロックレバーはいっぱい引き上げてください。ロックが解除されないうちに背もたれを倒そうとすると、レバーの動きが重くなります。

2 ロックレバー (1) を引き上げたまま、背もたれを好みの角度の少し手前まで倒します。



82K30230

3 ロックレバー (1) から手を離し、固定される位置まで背もたれを倒します。

⚠ 警告

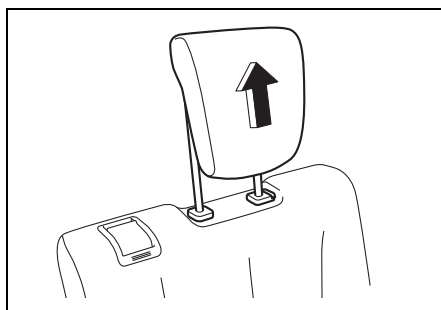
背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け

■ 使用時の位置

使用するときは、ヘッドレストを手で持ち上げ、しっかりと固定します。

使用時

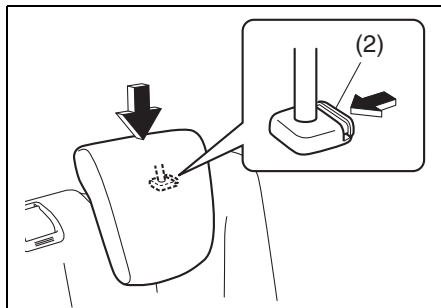


82K30240

■ 収納時の位置

収納するときは、ロックボタン (2) を押したままヘッドレストを一番下まで押し下げます。

収納時



82K30250

3. 運転装置の取扱い/シートの調節

■ 取外しかた

ロックボタン (2) を押したまま引き抜きます。

⚠ 警告

ヘッドレストを外したまま、後席に人を乗せないでください。

⚠ 注意

取り外したヘッドレストは、客室内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなどに乗員や物などに当たって、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。

⚠ 警告

- ヘッドレストは、しっかり固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けしないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。
- ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。
- お子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートがヘッドレストに当たるのを防ぐため、ヘッドレストを固定できる範囲で一番高い位置に調節するか取り外してください。ヘッドレストが当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

後席シートの格納のしかた

後席シートを格納すると、荷室が広く使えます。

⚠ 警告

倒した背もたれの上や荷室に人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されてけがのおそれがあります。

⚠ 注意

シートを動かすときは、手足をはさんだり、身体に当てたりしないように気をつけてください。

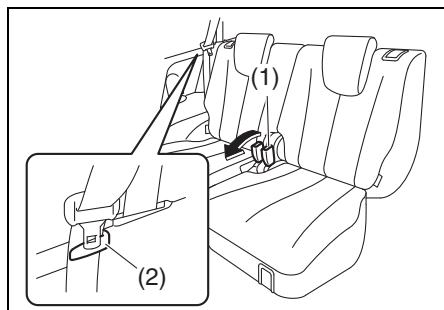
注記

格納前に、シートの下に物が落ちていないか確認してください。

■ 格納のしかた

- 1 格納のさまたげにならないよう、前席の両方を前方いっぱいまでスライドさせます。また、助手席シートバックポケットに大きな荷物が入っていたら、取り出してください。
→ 3-32ページ (前席シート)
→ 5-42ページ (助手席シートバックポケット)
- 2 シートベルトのバックル (1) は、破損防止のため、ホルダー内に収納します。また、後席左右のシートベルトは図のようにベルトガイド (2) にかけます。

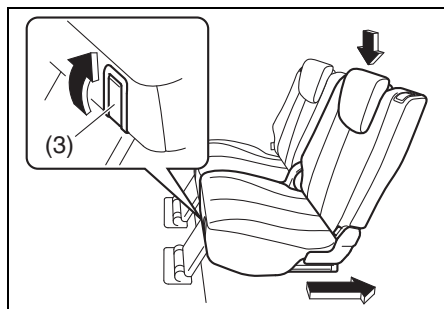
3. 運転装置の取扱い/シートの調節



82K30260

- 3** スライドレバー (3) を引き上げ、後席を後方へいっぱいまでスライドさせます。また、ヘッドレストは一番低い位置に調節します。

- 後席を後方へいっぱいまでスライドさせないと、手順 **5** で後席のロックが解除できません。

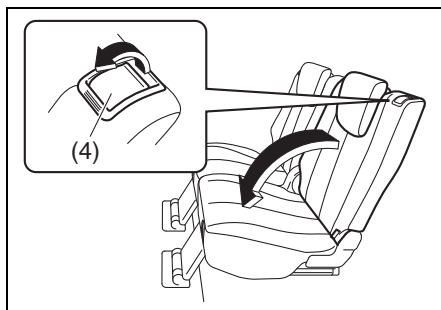


82K30270

⚠ 注意

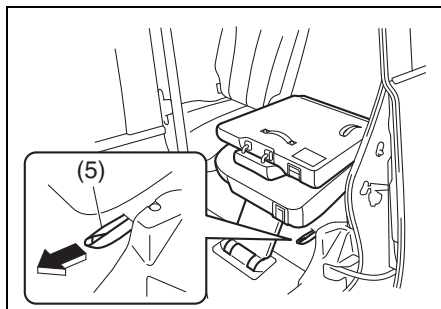
格納後にスライドレバーを操作しないでください。もとにもどしたときに後席が固定できなくなる場合があります。

- 4** ロックレバー (4) を引き上げ、そのまま背もたれを前方へ倒します。



82K30280

- 5** 後席下のドア側にあるストラップ (5) を前方へ引いて、後席のロックを解除します。



82K30290

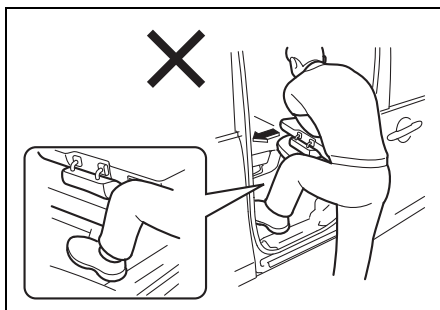
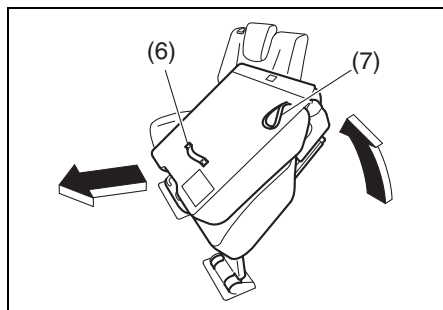
⚠ 注意

- 荷物の固定などに、ストラップを使用しないでください。走行中に突然後席のロックが外れ、思わぬけがのおそれがあります。
- ストラップを一度でも引くと、後席のロックが解除されたままとまります。後席に人を乗せる前にシートを押すなどして、確実に固定されているか確認してください。

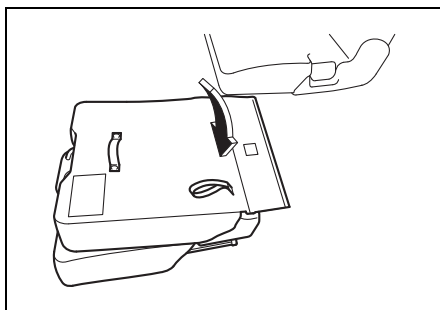
3. 運転装置の取扱い/シートの調節

6 背もたれの両方のベルト (6) と (7) を持って、後ろ側のベルト (7) でシート後部を持ち上げながら、後席全体を前方へ動かします。

- 後ろ側のベルト (7) でシート後部が持ち上がらないときは、ロックが解除されていないおそれがあります。
- 後席のヘッドレストが前席に当たる場合は、前席を前方へ動かしてください。



7 後席の後部を押し下げます。



⚠ 注意

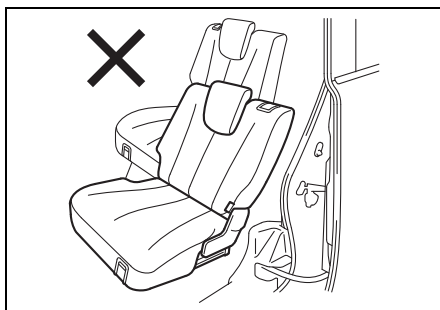
後席を格納するときは、シートクッション下を持ちたり、床に足を置いたりしないでください。シートクッション下の部品で手にけがをしたり、シートと床の間に足をはさんでけがをしたりするおそれがあります。

注記

後席全体を格納またはもとにもどすときは、必ず後ろ側のベルト (7) でシート後部を持ち上げてください。そうしないと後席の動きが重くなるばかりでなく、故障の原因となります。

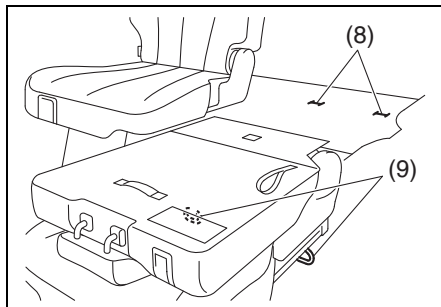
⚠ 警告

背もたれだけをもとにもどして、人を乗せないでください。後席が固定されていないため、ブレーキや加速、衝突のときなどに、けがのおそれがあります。



▲ 注意

- 荷室床にあるロック部品 (8) に指などを入れないでください。けがのおそれがあります。
- 荷物の固定などに、ロック部品や後席下の後席固定用フック (9) を使用しないでください。また、ロック部品やフックに砂などの異物を付着させないでください。ロック部品が損傷したりフックが曲がったりして、後席が固定できなくなるおそれがあります。

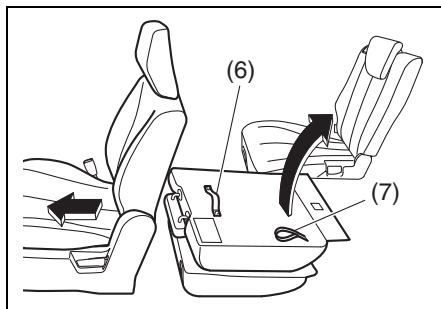


82K30340

■ もとにもどすときは

3-38 ページの「格納のしかた」と逆の手順で行ないます。

- 後席をもどすときは、前席シートの両方を前方いっぱいまでスライドさせてから、背もたれの両方のベルト (6) と (7) を持って操作します。その際、後ろ側のベルト (7) でシート後部を持ち上げてから、後方へ動かします。



82K30350

▲ 注意

- 後席をもどす前に次のことを確認してください。後席が適切に固定できなくなり、けがにつながるおそれがあります。
 - 後席をもどす場所に、物が落ちていないか確認してください。また、後席下の後席固定用フック (9) に砂などの異物が付着していたら取り除いてください。そのまま後席をもどすと、フックや荷室床にあるロック部品 (8) が損傷するおそれがあります。
- 後席をもどすときに、シートクッション下を持ったり、床に手を置いたりしないでください。シートクッション下の部品でけがをしたり、シートと床の間に手をはさんでけがをしたりするおそれがあります。
- 後席をもどしたあとは、背もたれをゆすったりシートクッションを押したりして、後席が確実に固定されているか確認してください。固定が不確実な場合、走行中に突然後席のロックが外れ、思わぬけがのおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/シートの調節

ISOFIX 対応チャイルドシート 固定専用金具

後席には、ECE R44 (※1) の基準に適合した ISOFIX (※2) タイプのお子さま用シート (別売り) を固定するための専用金具が装備されています。

- 座面と背もたれのすき間にある金具が、ISOFIX対応チャイルドシート固定用アンカー (以下ISOFIXアンカーと略す) です。
- 背もたれの裏側下方にある金具が、チャイルドシート固定用テザーアンカー (以下テザーアンカーと略す) です。

※1 ECE R44 とは、お子さま用シートに関する国際法規です。

※2 ISOFIXとは、お子さま用シートの固定装置の大きさや取付け方法を統一した国際標準化機構【ISO (※3)】の規格です。

※3 ISO とは、International Organization for Standardization (インターナショナル オーガニゼーション フォー スタンダーディゼーション) の略です。

<日産純正用品の場合>

	ISOFIX アンカー	テザー アンカー
ISOFIXタイプの 乳児用チャイルド シート (後ろ向きに固定)	○ (使用)	○ (使用)
ISOFIXタイプの チャイルドシート (前向きに固定)	○ (使用)	○ (使用)

- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格に合った適切なものを選んでください。

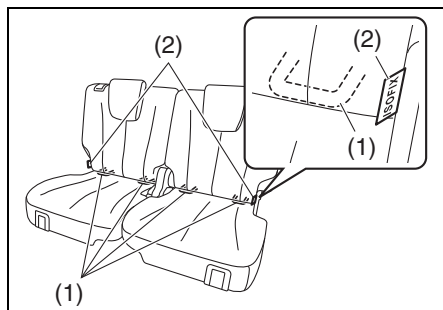
→ **4-10 ページ (お子さま用シートの選択について)**

- ISOFIXタイプのお子さま用シートは、シートベルトで固定する必要がありません。
- シートベルトで固定するお子さま用シートを取り付けるときは、**4-8 ページの「お子さま用シートのシートベルトによる固定」**をお読みください。

■ 固定のしかた

1 ISOFIXアンカー (1) の位置を確認します。

- 座面と背もたれのすき間にあります。



82K30360

(1) ISOFIXアンカー (2) タグ

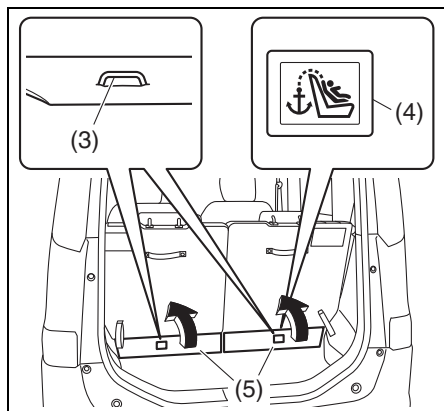
⚠️ アドバイス

ISOFIXアンカーがある付近には、前図のようなタグ (2) がついています。

2 テザーアンカー (3) の位置を確認します。

- 背もたれ裏側下方にあるカバー (5) を持ち上げた内側にあります。

3. 運転装置の取扱い/シートの調節



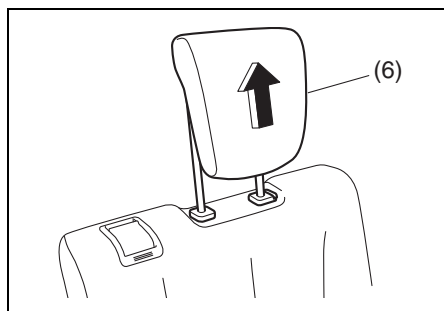
82K30370

- (3) テザーアンカー (4) ラベル
(5) カバー

⚠️ アドバイス

テザーアンカーがある付近には、前図のようなラベル (4) がついています。

- 3 後席のヘッドレスト (6) は、お子さま用シートに当たらない高さに調節するか取り外します。
→ 3-37 ページ (ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け)



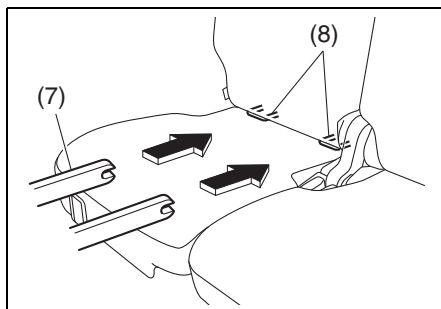
82K30700

⚠️ 警告

ヘッドレストを調節してもお子さま用シートに当たる場合は、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストに当たった状態ではお子さま用シート

が確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 4 座席が確実に固定されているか確認します。
- 5 お子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがって、お子さま用シートのコネクター (7) を ISOFIX アンカー (8) へ差し込みます。



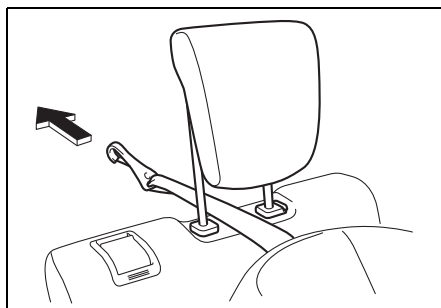
82K30380

- (7) コネクター (8) ISOFIXアンカー

- 6 テザーベルトを使用する場合、次のようにしてテザーアンカーへ取り付けます。

- ヘッドレストを取り付けているときは、図 (代表例) のように持ち上げたヘッドレストと背もたれの間を通す

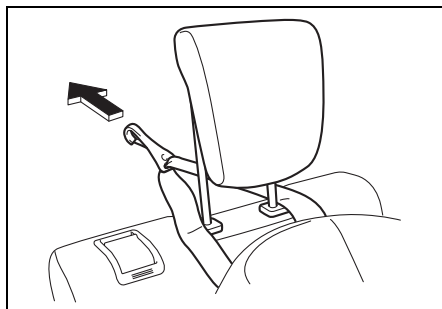
テザーベルト1本の場合



82K30390

3. 運転装置の取扱い/シートの調節

テザーベルト2本の場合



- 7 お子さま用シートをゆすって、確実に取り付けられているか確認します。

警告

- お子さま用シートを取り付けるときは、ISOFIX アンカーやテザーアンカー周辺にシートベルトや異物などがいないか確認してください。シートベルトなどがかみ込むと、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 荷物の固定などに、ISOFIX アンカーやテザーアンカーを使用しないでください。アンカーが曲がったり損傷したりすると、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

フルフラットシート

前席と後席の背もたれを後方へ倒すと、室内に連続的な空間が作れます。

警告

フルフラットにしたシートに、人や荷物をのせて走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに投げ出されたり、荷物が身体に当たったりして重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- フルフラットにしたシートの上を歩きまわらないでください。シートから足を踏み外すと、けがのおそれがあります。
- SRS サイドエアバッグ装備車では、前席の背もたれの上でとびはねるなどして、SRS サイドエアバッグ収納部に無理な力を加えないでください。
- シートをもとにもどしたときは、クッションや背もたれをゆすって、しっかりと固定されているか確認してください。シート自体の固定が不確実な場合、走行中に突然シートが動いたり、背もたれが前に倒れたりして、思わぬけがをするおそれがあります。

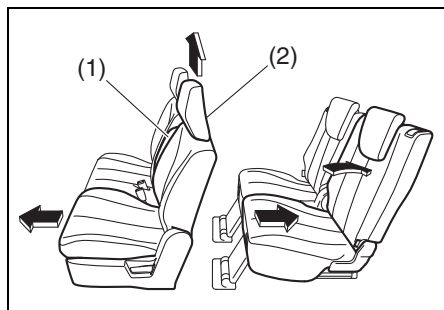
注記

シートに強い衝撃をあたえないでください。シートが損傷することがあります。

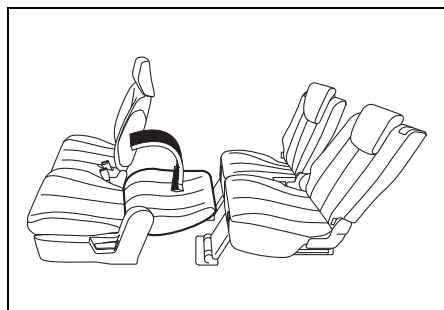
3. 運転装置の取扱い/シートの調節

フルフラットにするときは

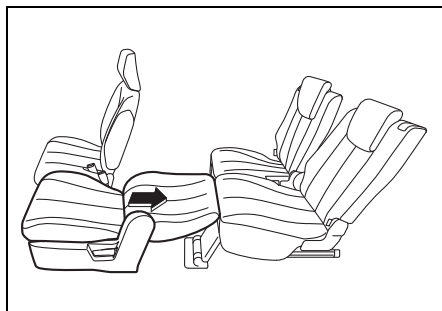
- 1 前席のアームレスト (1) を持ち上げ収納します。
- 2 後席を、後方へいっぱいまでスライドさせます。
- 3 後席の背もたれを、後方へいっぱいまで倒します。後席はフラットになりません。
- 4 前席のヘッドレスト (2) を外し、前席を前方へいっぱいまでスライドさせます。



- 5 前席の背もたれを、後方へいっぱいまで倒します。



- 6 後席に当たるまで、前席を後方へスライドさせます。

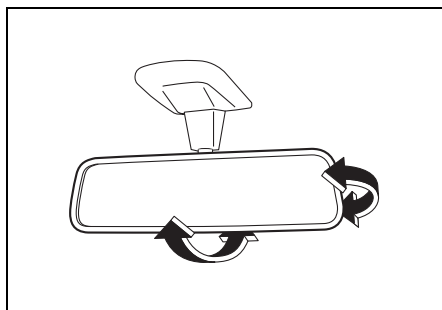


もとにもどすとき

「フルフラットにするときは」と逆の手順で操作します。

ルームミラー

ミラー全体を動かして角度を調節します。



⚠ 警告

必ず走行前に調節してください。走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/各部の調節

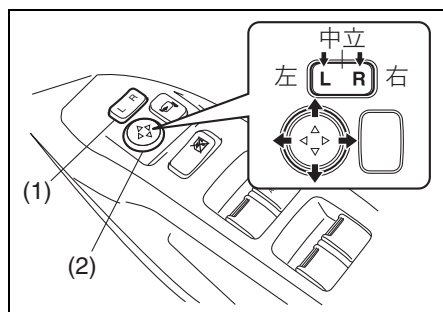
ドアミラー

角度の調節

■ ドアミラー角度調節スイッチ

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときに使用できます。

- 1 左右切替えスイッチ (1) を、調節したいミラーの側を押します。
- 2 角度調節スイッチ (2) を押して、上下左右にミラーを動かします。



⚠ 警告

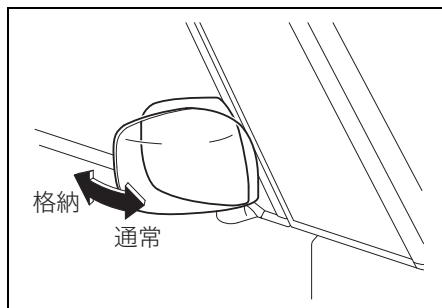
必ず走行前に調節してください。走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

📌 アドバイス

調節後は、左右切替えスイッチを中立の位置へもどしてください。

格納

狭い場所で駐車するときなどに、ドアミラーを車の後ろ方向に倒すことができます。



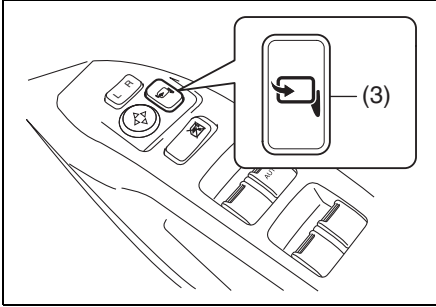
⚠ 注意

- ドアミラーを倒したまま走行しないでください。後方の確認ができず、事故を起こすおそれがあります。
- ドアミラーは車体より張り出しています。ドアミラーを車外の人や物にあてないように気をつけてください。

■ ドアミラー格納スイッチ

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** のときに使用できます。

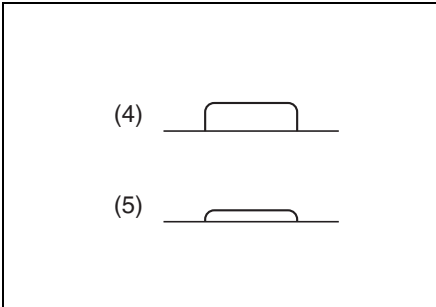
- 格納スイッチを押すごとに、格納と通常の位置に切り替わります。



82K347

(3) 格納スイッチ

格納スイッチの状態



82K357

(4) 通常

(5) 格納

▲ 注意

- 動いているドアミラーに触れないでください。手をはさんでけがのおそれがあります。また、ドアミラー故障の原因となります。
- 格納スイッチでドアミラーを格納したときは、手でドアミラーを通常的位置にもどさないでください。ドアミラーの固定が不完全になるため、走行中の振動や走行風などでドアミラーが動くおそれがあります。その場合は、スイッチを通常的位置に押し、確実にドアミラーを固定してください。

注記

エンジンスイッチが **ACC** または **ON** の位置にあるときは、手でドアミラーを操作しないでください。ドアミラー故障の原因となります。

📌 アドバイス

- ドアミラーを手で動かすと、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたときに、ドアミラーが動き出すことがあります。
- 格納スイッチが通常的位置で、ドアミラーが車の前方向に倒れていると、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたときに、ドアミラーがさらに車の前方向に倒れてしまいます。ドアミラーをもとの状態にもどすときは、一度格納操作をしてください。

3. 運転装置の取扱い/各部の調節

ドアミラーヒータースイッチ

タイプ別装備

ドアミラーヒーターは、リヤデフォッガーと連動します。

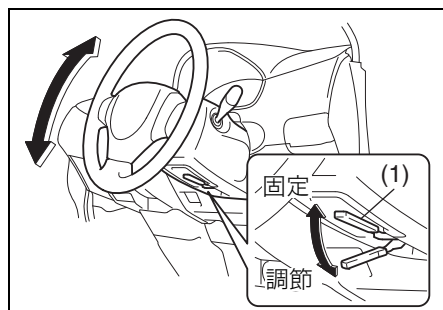
→ 3-68ページ
(リヤデフォッガースイッチ)

チルトステアリング

ハンドルの高さ調節

→ 2-9 ページ (ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に)

- 1 ハンドルの固定を解除します。
 - 片手でハンドルをささえながら、ハンドル下のレバー (1) を押し下げます。
- 2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置に調節します。
- 3 調節後は、ハンドルを固定します。
 - その位置でハンドルを押さえたまま、レバーをもとの位置まで確実にもどします。



82K094

▲ 注意

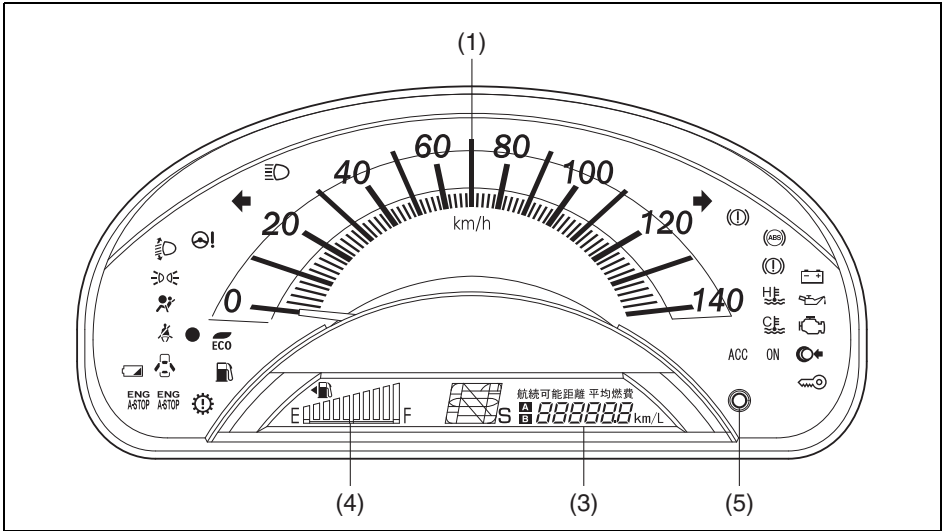
調節後はハンドルを上下にゆずって、確実に固定されているか確認してください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

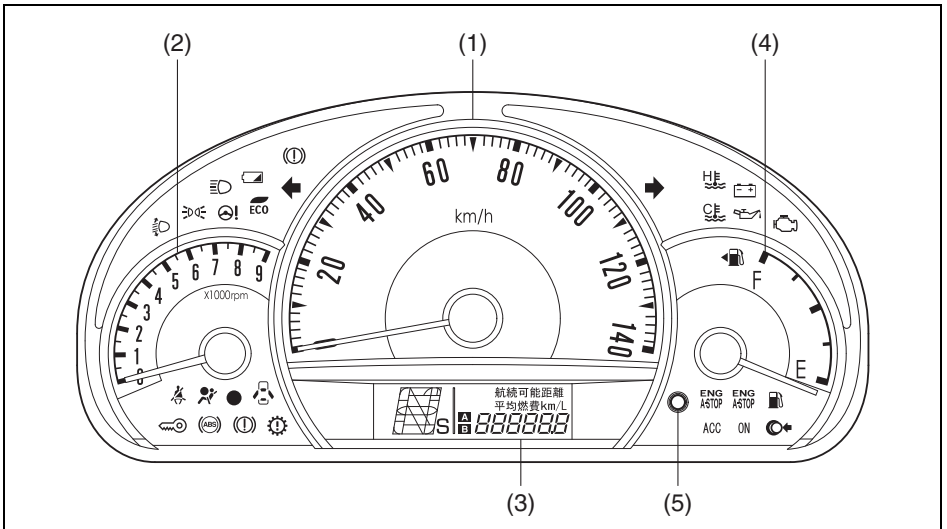
メーターの見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。

タコメーターなし車



タコメーター装備車



メーター

3. 運転装置の取扱い/メーター

- (1) スピードメーター(速度計)
- (2) タコメーター(エンジン回転計)
- (3) オドメーター/トリップメーター(燃費/航続可能距離表示機能付)
- (4) 燃料計
- (5) 表示切替えノブ

アドバイス

タコメーター装備車はエンジンスイッチを **ON** にすると、オドメーター/トリップメーター (3) に “HELLO” と表示されます。また、スピードメーターとタコメーターの指針が一度振り切ります。

(1) スピードメーター(速度計)

走行速度がkm/hで示されます。

(2) タコメーター (エンジン回転計)

1 分間あたりのエンジン回転速度 (回転数) が示されます。

注記

- エンジン保護のため、指針がレッドゾーン (※) に入らないように運転してください。
※エンジンの許容回転を超えていることを示す赤色表示範囲
- シフトダウンすると、エンジン回転が上がります。とくに注意してください。

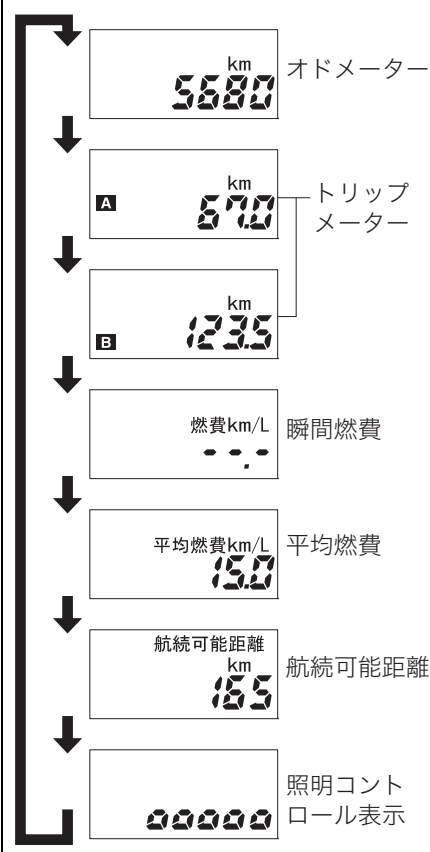
(3) オドメーター/トリップメーター (燃費/航続可能距離表示機能付)

エンジンスイッチを **ON** にすると、次のいずれかが表示されます。

- オドメーター (積算距離計)
- トリップメーター (区間距離計)
- 瞬間燃費
- 平均燃費
- 航続可能距離

メーター内の表示切替えノブ (5) を押すと、次の図 (タコメータ装備車用を代表) のように表示が切り替わります。

図の値は表示例です



82K30460

警告

走行中は、表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/メーター

⌒ アドバイス

- 表示は、ノブを離れたときに切り替わります。
- 走行中にメーター内のエンジン警告灯が点灯すると、燃費や航続可能距離が正しく表示されない場合があります。
→ **3-57ページ (エンジン警告灯)**
- 表示される燃費や航続可能距離は目安です。実際とは異なる場合があります。

オドメーター (積算距離計)

新車時 (またはメーター交換時) からの走行距離の累計が km 単位で表示されます。(リセットはできません)

トリップメーター (区間距離計)

リセット後の走行距離が km 単位で表示されます。(次にリセットするまで距離計測は継続されます)

- **A** および **B** の2種類の走行距離を同時に計測できます

<使いかたの例>

A : 出発時にリセットして、出発後の距離を計測

B : 給油時にリセットして、給油後の距離を計測

- リセットするときは、表示が「0.0」になるまで表示切替えノブ (5) を長押しします。

⌒ アドバイス

トリップメーターの最大値は 9999.9 で、そのあと 0.0 にもどります。(距離計測は継続されます)

瞬間燃費

走行中に表示されます。

⌒ アドバイス

- 停車中は値が表示されません。
- 最大表示値は 50.0 です。下り坂などで燃料カット制御が作動しているときでも、それ以上の値は表示されません。
- 燃費が大きく変化する走行をするとき、表示に遅れが発生します。

平均燃費

バッテリー接続後、またはリセット後の値が表示されます。

- リセットするときは、平均燃費の表示中に表示切替えノブ (5) を長押しします。

⌒ アドバイス

バッテリー接続後またはリセット後しばらくは、値が表示されません。

航続可能距離

燃料残量と平均燃費から算出した値が 5 km 単位で表示されます。

⌒ アドバイス

- 給油直後の値は、給油前の走行状況に左右されますので、給油ごとに値が異なる場合があります。
- エンジンスイッチを **ON** のままにして給油すると、正しい値が表示されない場合があります。
- 次のような場合は値が表示されません。
 - エンジンスイッチを **ON** にしたあと少しの間
 - バッテリー接続後しばらくの間
 - 燃料残量警告灯の点灯中
→ **3-56ページ**

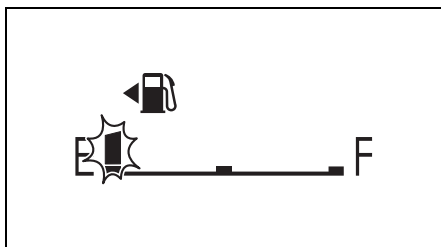
(燃料残量警告灯)

3. 運転装置の取扱い/メーター

(4)燃料計

エンジンスイッチが **ON** のとき、燃料の残量の目安が表示されます。

- 燃料残量警告灯が点灯したときは、すみやかに給油してください。
→ **3-56ページ (燃料残量警告灯)**
- タコメーターなし車の場合、燃料残量警告灯が点灯するとともに燃料計の目盛り(一つ)が点滅したときは、燃料がほとんどありません。ただちに給油してください。



82K250

⚠️アドバイス

- 給油後は、エンジンスイッチを **ON** にしてから表示が正しい量を示すまでに、少し時間がかかります。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、表示が変わることがあります。
- 🛢️の左にある◀印は、給油口(フューエルリッド)が助手席側の車両後方にあることを示します。

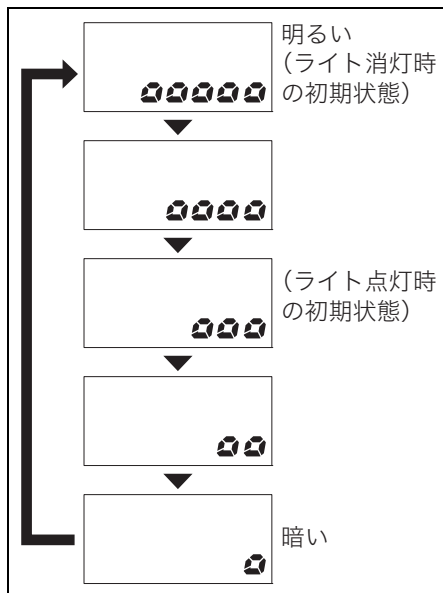
メーターの照明

エンジンスイッチを **ON** にすると点灯し、**ACC** または **LOCK** (OFF) にすると消灯します。

■メーターの明るさ調節

ライト点灯時と消灯時のそれぞれで5段階に調節できます。

- 明るさを調節したい状態(ライト点灯または消灯)にし、照明コントロール表示(**3-50ページ**参照)にしたうえで、表示切替えノブ(5)を長押しします。明るさが1段階ずつ変化します。



82K30470

⚠️警告

走行中は明るさ調節をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠️アドバイス

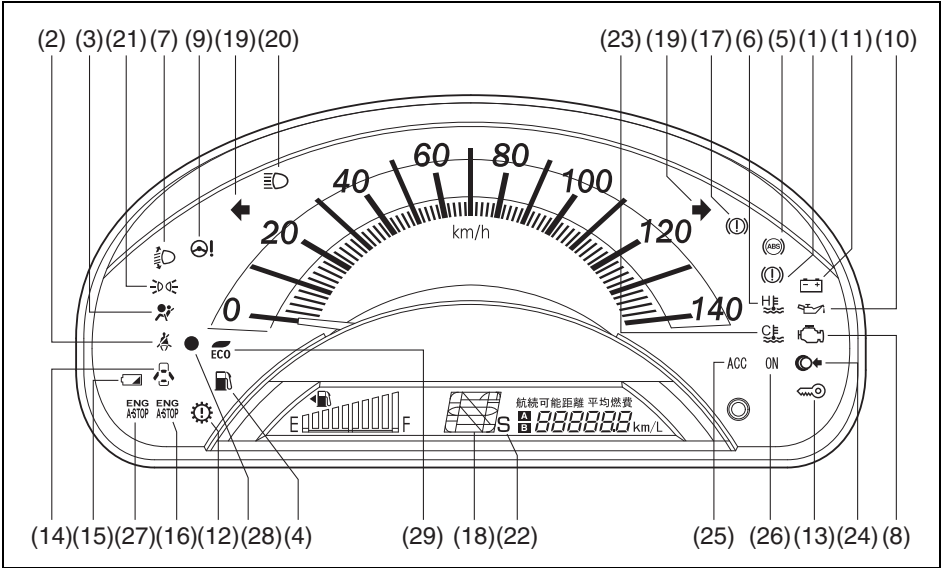
- 調節中に、表示切替えノブを短押しするか10秒以上押さないでいると、オドメーターの表示に切り替わります。
- バッテリーを外すと記憶が消去され初期状態にもどりますので、明るさ調節をやり直す必要があります。

3. 運転装置の取扱い/メーター

警告灯・表示灯の見かた

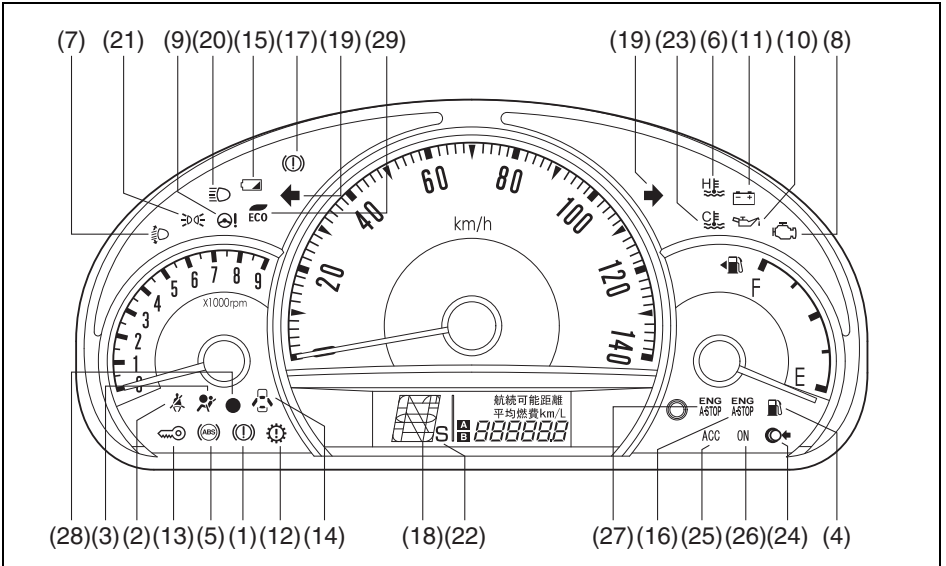
イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。

タコメーターなし車



82K30480

タコメーター装備車



82K30490

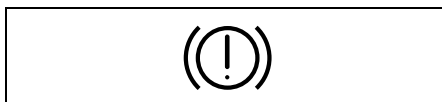
メーター

3. 運転装置の取扱い/メーター

- (1) ブレーキ警告灯(※)
- (2) シートベルト警告灯
- (3) SRSエアバッグ警告灯(※)
- (4) 燃料残量警告灯
- (5) ABS警告灯(※)
- (6) 水温警告灯(※)
- (7) オートレベライザー警告灯(※)
- (8) エンジン警告灯(※)
- (9) パワーステアリング警告灯(※)
- (10) 油圧警告灯(※)
- (11) 充電警告灯(※)
- (12) トランスミッション警告灯(※)
- (13) エンジンイモビライザー警告灯(※)
- (14) 半ドア警告灯
- (15) 携帯リモコン電池消耗警告灯
- (16) アイドリングストップ警告灯(オレンジ色)(※)
- (17) ヒルスタートアシスト警告灯(オレンジ色)(※)
- (18) ポジションインジケーター
- (19) 方向指示器表示灯
- (20) ヘッドランプ上向き表示灯
- (21) ライト点灯表示灯
- (22) S(スポーツ)モード表示
- (23) 低水温表示灯(※)
- (24) プッシュ表示灯
- (25) ACC表示灯
- (26) IG ON表示灯
- (27) アイドリングストップ表示灯(緑色)(※)
- (28) セキュリティインジケーター
- (29) ECOインジケーター(※)

- ※印の警告灯・表示灯は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに初期点灯するのが正常です。点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
- アイドリングストップ装備車には、特有の点灯条件があります。
→ **3-91ページ**
(アイドリングストップ)

(1) ブレーキ警告灯



82K170

- 次のような状況になると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。
 - ・ブレーキ液が不足している
 - ・パーキングブレーキをかけている
 - ・ブレーキシステムに異常がある
- システムが正常で、パーキングブレーキを完全に解除しているときは、エンジンスイッチを **ON** にすると約2秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に一時的に点灯しても、そのあと消灯し再点灯しなければ正常です。

⚠ 警告

- 次のようなときはただちに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 - ・パーキングブレーキを完全に解除しても消灯しないときや、走行中に点灯したとき。ブレーキの効きが悪くなっていることがあります。ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

- ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したままのとき。ABSに異常が発生しているだけでなく、ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。

- パーキングブレーキの解除忘れにご注意ください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。また、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。

→ 3-80ページ (パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー)

(2) シートベルト警告灯



運転者がシートベルトを着用していないと、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

また、エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していない場合、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴るとともに、警告灯が点灯から点滅に切り替わります。

- 運転者がシートベルトを着用しても、点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 運転者がシートベルトを着用すると消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーは運転者がシートベルトを着用しなくても、約95秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にするまで消灯しません。

(3) SRSエアバッグ警告灯



SRSエアバッグ、SRSサイドエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約6秒間点灯したあと消灯します。

警告

次のような場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

- 運転中に点灯
- エンジンスイッチを **ON** にしても点灯しない
- エンジンスイッチを **ON** にしたあと、約6秒間たっても消灯しない

3. 運転装置の取扱い/メーター

(4) 燃料残量警告灯



- 燃料の残量が少なくなると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。すみやかに給油してください。
- 点灯すると、警告ブザーが“ポーン”と1回鳴ります。また、そのまま給油しないしていると、エンジンスイッチを **[ON]** にすることに警告ブザーが鳴ります。
- システムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点滅します。日産販売会社で点検を受けてください。
→ 3-52ページ (燃料計)

⚠️ アドバイス

- 坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため、早めに点灯することがあります。
- 走りかたによって、点灯・消灯が繰り返されることがあります。

(5) ABS警告灯



ABS (アンチロックブレーキシステム) の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。点灯中はABSが作動しません。日産販売会社で点検を受けてください。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

⚠️ 警告

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。ABS に異常が発生しているだけでなく、ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。

⚠️ アドバイス

点灯中はABSは作動しませんが、通常のブレーキとして使用することができます。

(6) 水温警告灯



エンジン回転中に、エンジン冷却水温が高くなると点滅します。また、エンジン冷却水温が異常に高くなったときは点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに約2秒間点灯したあと消灯します。
- 点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車してください。
→ 7-25ページ
(オーバーヒートしたときは)

- 水温警告灯と低水温表示灯が同時に点滅したときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

(7) オートレベライザー警告灯

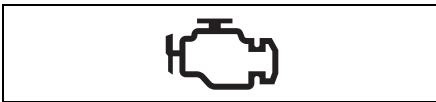
タイプ別装備



キセノンヘッドランプ装備車では、オートレベライザー（自動光軸調整）システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約2秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に点灯した場合は、安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。再びエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯すれば、そのまま使用できます。消灯せず再び点灯する場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

(8) エンジン警告灯



- エンジンの電子制御システムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。
- エンジンの失火を検知すると、エンジン回転中に点灯または点滅します。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯・点滅したときは、日産販売会社で点検を受けてください。

警告

点滅したときは、すみやかに停車しエンジンを止めてください。触媒装置が溶損するおそれがありますので、次のことに注意してください。

- 枯れ草などの燃えやすいものがない安全な場所に停車する
- やむをえず走行する場合はアクセルペダルを大きく踏み込む走行をしないで、低速で走行する

(9) パワーステアリング警告灯



電動パワーステアリングシステムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。日産販売会社で点検を受けてください。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。

注意

電動パワーステアリングシステムに異常があると、電動パワーステアリングシステムの機能が停止し、ハンドル操作が重くなります。通常より大きな力で操作することは可能ですが、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

(10) 油圧警告灯



80J223

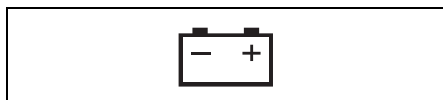
エンジン回転中に、エンジンの内部を潤滑するエンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジンオイルの量は、オイルレベルゲージで点検してください。点検方法は、「メンテナンスノート」を参照してください。
- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めて日産販売会社にご連絡ください。

注記

点灯したまま走行を続けしないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

(11) 充電警告灯



80J226

充電システムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯したときは、ベルト切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、バッテリー保護のためエンジンを止めて、日産販売会社にご連絡ください。

(12) トランスミッション警告灯



80J219

CVTのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。日産販売会社で点検を受けてください。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

(13) エンジンイモビライザー警告灯



85K2210

→ 3-71ページ
(エンジンイモビライザー)

車体の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯することがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

(14) 半ドア警告灯



82K274

いずれかのドアが完全に閉まっていないと点灯します。

- 点灯したままにしていると、走行することにより警告ブザーが“ポーン”と1回鳴ります。

警告

警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが完全に閉まっていない半ドア状態のときは、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。

(バッテリーセーバー機能)

- エンジンスイッチが **LOCK** (OFF) の位置
- 点灯したまま15分が経過

(15) 携帯リモコン電池消耗警告灯



70K122

携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、約15秒間点灯します。電池交換のうえ、警告灯をリセットしてください。

→ 6-6ページ

(携帯リモコンの電池交換)

3. 運転装置の取扱い/メーター

(16) アイドリングストップ警告灯(オレンジ色)

タイプ別装備

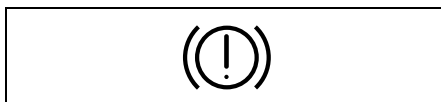


68LM271

→ 3-91ページ
(アイドリングストップ)

(17) ヒルスタートアシスト警告灯(オレンジ色)

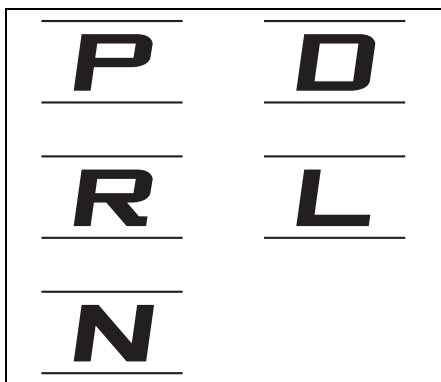
タイプ別装備



82K170

→ 3-94ページ
(ヒルスタートアシスト)

(18) ポジションインジケーター



82K376

エンジンスイッチが **ON** のときに、セレクトレバーの位置を示します。

→ 3-81ページ (セレクトレバーの各位置のはたらき)

3. 運転装置の取扱い/メーター

(19)方向指示器表示灯



80J211

- 方向指示器/非常点滅表示灯を作動させると点滅します。
- 点滅が異常に速くなったときは、方向指示器/非常点滅表示灯の電球切れが考えられます。

→ 7-20ページ

(電球を交換するときは)

(20)ヘッドランプ上向き(ハイビーム)表示灯



80J212

ヘッドランプが上向きのときに点灯します。

(21)ライト点灯表示灯



82K096

ヘッドランプや車幅灯が点灯している間、点灯します。

(22)S(スポーツ)モード表示



70K128

S (スポーツ) モードスイッチがONのときに表示されます。

→ 3-83ページ

(S (スポーツ) モードスイッチ)

(23)低水温表示灯



82K083

エンジンスイッチが **ON** のときに、エンジン冷却水温が低いと点灯し、エンジンが暖まると消灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約2秒間点灯します。そのあとはエンジン冷却水温の状態により点灯または消灯します。
- 暖機を十分にしても点灯したままのときは、センサーの異常が考えられます。また、点滅したときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

(24)プッシュ表示灯



82K174

→ 3-72ページ

(プッシュエンジンスターター)

(25)ACC表示灯



エンジンスイッチが **ACC** 位置にあると点灯します。

→ **3-73ページ**

(電源の切替えのしかた)

⚠️アドバイス

バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたして約60分が経過すると、自動的に消灯してエンジンスイッチが **LOCK** (OFF) 位置にもどります。

- ブレーキペダルが踏まれていない
- セレクトレバーが **P** 位置
- すべてのドアが閉まっている

(26)IG ON表示灯



エンジン停止状態で、エンジンスイッチが **ON** 位置にあると点灯します。

→ **3-73ページ**

(電源の切替えのしかた)

3. 運転装置の取扱い/メーター

(27)アイドリングストップ表示灯(緑色)

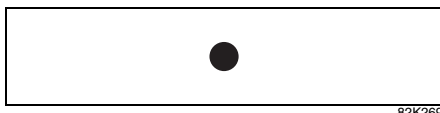
タイプ別装備



→ **3-91ページ**

(アイドリングストップ)

(28)セキュリティインジケータ



- カーアラームが<警報モード>のときに、ドアをリクエストスイッチまたはリモートコントロールエントリーシステムで施錠すると、小刻みに点滅して約20秒後にカーアラームがセットされます。

セット中は、2秒間隔で点滅します。

- 駐車時に警報が作動していると、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約8秒間小刻みに点滅します。

→ **3-22ページ (カーアラーム)**

- 車体の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに約15秒間、1秒間隔で点滅します。日産販売会社で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

(29)ECOインジケーター



70K30030

燃費効率が良い運転をしていると判定されると点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。

アドバイス

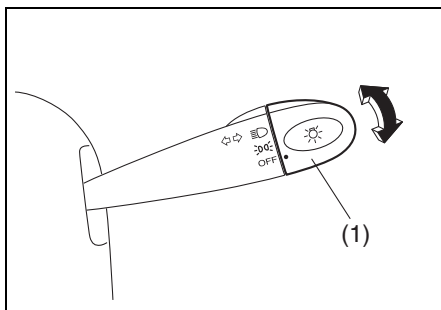
- 車速約 10 km/h 未満では点灯しません。
- アイドリングストップ装備車の場合、エンジンの自動停止中も点灯します。
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、点灯しなくすることができます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。

ライトスイッチ

ライトの点灯・消灯

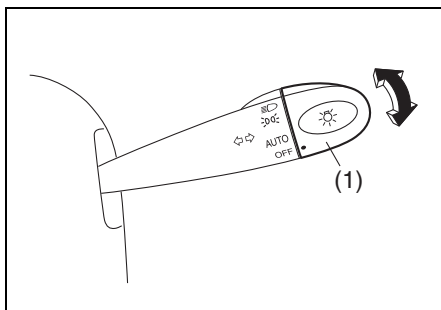
エンジンスイッチの位置に関係なく使用でき、ライトスイッチのつまみ (1) をまわすと次のように点灯・消灯します。

オートライトシステム非装備車



64L30520

オートライトシステム装備車



82K30500

ライトスイッチの位置	ヘッドランプ (前照灯)	車幅灯、尾灯、番号灯
☺	点灯	点灯
☹	消灯	点灯
AUTO	自動点灯・消灯 (※)	
OFF	消灯	消灯

3. 運転装置の取扱い/スイッチの使いかた

※ オートライトシステム（タイプ別装備）は、エンジンスイッチが **ON** のときだけ作動します。

注記

エンジン停止中に、長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

⚠️ アドバイス

ヘッドランプや車幅灯が点灯している間は、メーター内のライト点灯表示灯が点灯します。

→ 3-60ページ（ライト点灯表示灯）

■ オートライトシステム

タイプ別装備

エンジンスイッチが **ON** のときに使用でき、車外の明るさに応じてヘッドランプや車幅灯が自動的に点灯・消灯します。エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると、自動的に消灯します。

- ライトスイッチのつまみを AUTO の位置にまわすと、次のように点灯・消灯します。

車外の明るさ	ヘッドランプ (前照灯)	車幅灯、 尾灯、番号灯
明るいとき	消灯	消灯
薄暗いとき	消灯	点灯
暗いとき	点灯	点灯

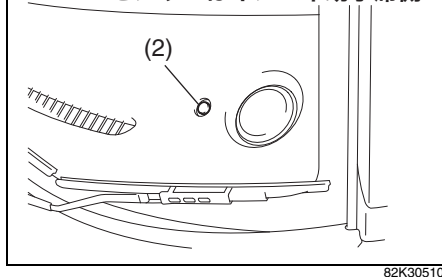
注記

AUTO 位置のままエンジンスイッチを **ON** にしていると、エンジンがかかっていなくても、車外が暗くなるとともにライトや車幅灯が点灯します。そのまま長時間点灯させると、バッテリーあがりの原因となりますのでご注意ください。

⚠️ アドバイス

オートライトセンサー (2) の上や周囲に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に点灯・消灯しなくなります。

センサーはインパネ助手席側



82K30510

ヘッドランプ消し忘れ警告ブザー

ヘッドランプや車幅灯の消し忘れを防止するため、次のようなときに運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー——”と連続して鳴ります。

- エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にしたあとも、ライトや車幅灯が点灯している

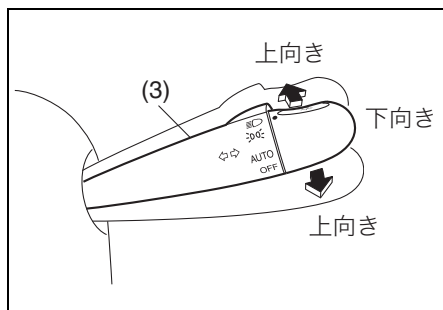
ライトおよび車幅灯を消すと、室内ブザーは止まります。

3. 運転装置の取扱い/スイッチの使いかた

ライトの上向き、下向きの切替え

ヘッドランプを上向き（ハイビーム）に切り替えると、遠くまで照らすことができます。

- ライトが点灯しているときに、レバー(3)を車の前方向に押しと上向きになります。もとの位置にもどすと、下向きになります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引くと、引いている間、上向きにライトが点灯します。
- ライトを上向きにすると、メーター内のヘッドランプ上向き（ハイビーム）表示灯が点灯します。
→ 3-60ページ（ヘッドランプ上向き（ハイビーム）表示灯）



82K30520

- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

アドバイス

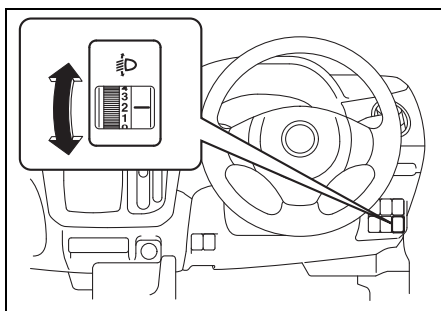
対向車や先行車があるときは、ライトを下向きにしてください。

ヘッドランプレベライザー スイッチ

タイプ別装備

ハロゲンヘッドランプ装備車は、ライトを点灯して光軸調整スイッチをまわすと、ライトの光軸が調整できます。荷物や同乗者を乗せてライトの光軸が上向きになると、対向車や先行車の迷惑となります。スイッチを操作して、光軸を下向きに調整してください。

- スイッチ操作は、ライトが下向き（ロービーム）に点灯しているときに行ってください。ライトが上向き（ハイビーム）に点灯している、または点灯していないときは、光軸が適切に調整できているか判断できません。
- スイッチの目盛りは0～4まであり、光軸が9段階（0.5きざみ）に調整できます。
- スイッチの目盛りを大きくすると、光軸が下向きになります。



82K30530

- 荷物や同乗者ののせかたによって変わりますが、次表の数値を参考に適切な位置に調整してください。

3. 運転装置の取扱い/スイッチの使いかた

〈スイッチ位置の目安〉

条件	スイッチ位置
運転席のみ乗車	0
運転席および助手席に乗車	0
4名乗車	1.5
4名乗車で荷室満載	2
運転席のみ乗車で荷室満載	2.5

⚠ 警告

走行中はスイッチ操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

車検などで基本の光軸を調整するときは、スイッチを0の位置にしてください。0以外の位置で基本光軸を調整すると、ライトの光軸が基準より上向きになるなど、安全上問題となるおそれがあります。

📏 アドバイス

- スwitchを操作すると、ライトの下向き（ロービーム）と上向き（ハイビーム）の光軸が同時に調整されます。
- キセノンヘッドランプ装備車の場合、光軸が自動調整されます。
→ 3-57ページ
(オートレベライザー警告灯)

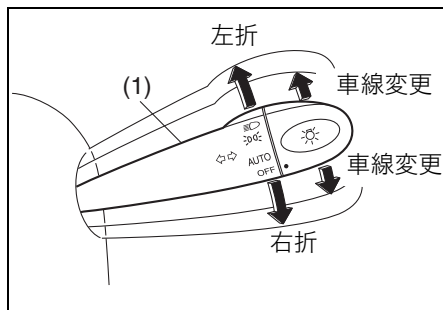
方向指示器スイッチ

エンジンスイッチが **ON** のときに使用できます。

右折・左折をするとき

左折時：レバー（1）を押し上げます。
右折時：レバーを押し下げます。

- 同時に方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- ハンドルをもとにもどすと、レバーが自動的にもとどり、方向指示器と表示灯が消灯します。



- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

📏 アドバイス

ハンドルを切る角度が小さいと、レバーが自動的にもとどらないことがあります。レバーを手でもどしてください。

車線変更をするとき

レバーを車線変更しようとする方向に軽く押さえます。

- 押さえている間だけ、方向指示器と表示灯が点滅します。

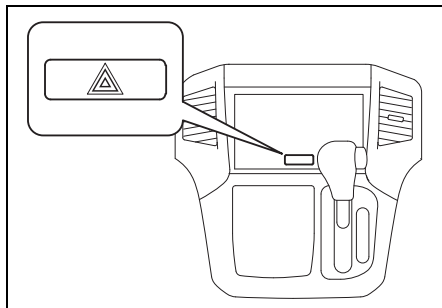
3. 運転装置の取扱い/スイッチの使いかた

非常点滅表示灯スイッチ

スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。故障などでやむをえず路上駐車するときや非常時に使用します。

- スwitchを押すと、すべての方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- もう一度押すと消灯します。



82K101

注記

エンジン停止中に長時間点滅させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

ワイパー/ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが **ON** のときに使用できます。

⚠ 注意

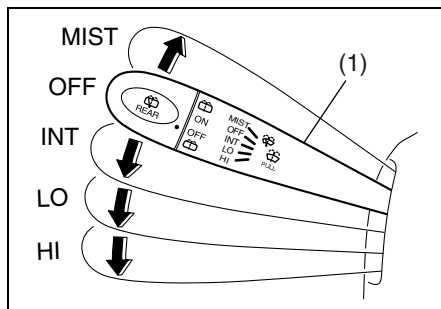
寒冷時は、ガラス面に吹きつけたウォッシャー液が凍結して、視界が悪くなる場合があります。ガラス面をデフロスターで暖めてから、ウォッシャー液を噴射してください。
→ 5-2ページ (デフロスター)

注記

- ウィンドーが乾いているときは、ウィンドーをウォッシャー液で濡らしてからワイパーを動かしてください。空ぶきするとガラス面やワイパーブレード (ゴム部) に傷がつくおそれがあります。
- ワイパーブレードがガラスにはりついているときは、ワイパーを作動させないでください。ブレード部 (ゴムの部分) が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。
- ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャーポンプが故障する原因となります。

フロントワイパースイッチ

レバー (1) を上下に操作します。



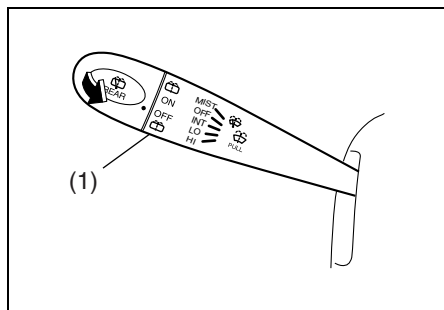
82K164

MIST	レバーを押し上げている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速作動
HI	高速作動

3. 運転装置の取扱い/スイッチの使いかた

フロントウォッシャースイッチ

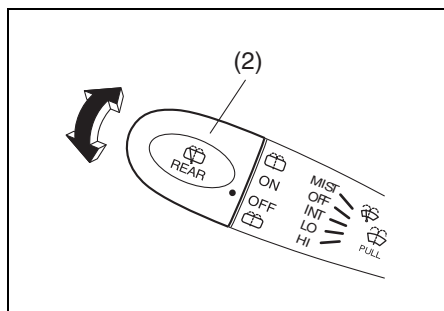
レバー(1)を手前に引くと、ウォッシャー液が噴射されワイパーが数回動きます。



82K165

リヤワイパースイッチ

つまみ(2)をまわします。

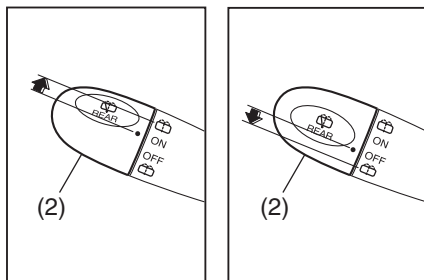


82K166

ON	作動
OFF	停止

リヤウォッシャースイッチ

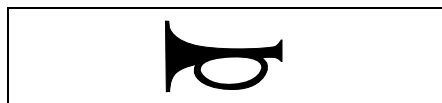
- 図の ↑ 方向につまみ(2)をまわし、ONの上にある ☒ (ウォッシャー) にあわせるとウォッシャー液が噴射し、同時にリヤワイパーも連動して動きます。つまみから手を離すとONにもどります。
- 図の ↓ 方向につまみ(2)をまわし、OFFの下にある ☒ (ウォッシャー) にあわせるとウォッシャー液が噴射します。つまみから手を離すとOFFにもどります。



82K167

ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。ハンドルのホーンマークがついている部分を押し、ホーンが鳴ります。



82K297

3. 運転装置の取扱い/スイッチの使いかた

リヤデフォグスイッチ

エンジン回転中またはエンジンの自動停止中（アイドリングストップ装備車）に使用でき、バックウインドーガラスの内側のくもりを取ります。

→ 3-91ページ

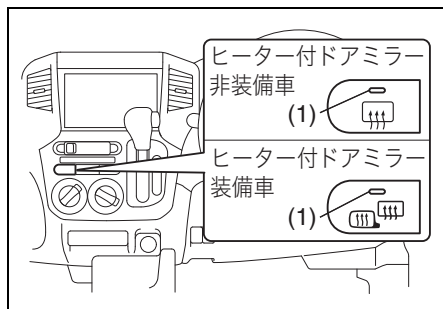
（アイドリングストップ）

- スwitchを押すとバックウインドーガラスが暖められて、スイッチ内の表示灯(1)が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。
- 約15分連続で使用すると、自動的にスイッチが切れます。
- 使用中にエンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にすると、エンジンを再始動しても自動的にスイッチは入りません。
- ヒーター付ドアミラー装備車では、同時にドアミラーも暖められ、ミラーについたくもりを取ります。

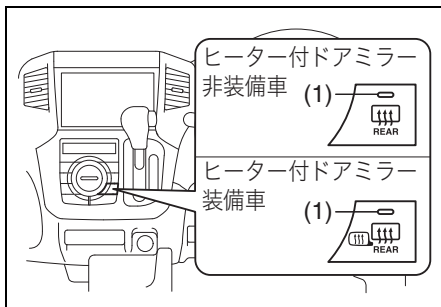
→ 3-48ページ

（ドアミラーヒータースイッチ）

オゾンセーフエアコン(ダイヤル式)装備車



オゾンセーフオートエアコン(プッシュ式)装備車



注記

- バッテリー保護のため、くもりが取れたらすみやかにスイッチを切ってください。
- 雪を溶かしたり、雨水を乾燥させたりすることには使用しないでください。
- バックウインドーガラスの室内側をふくときは、熱線や端子を傷つけないように、水を含ませた柔らかい布で熱線に沿ってふいてください。

アドバイス

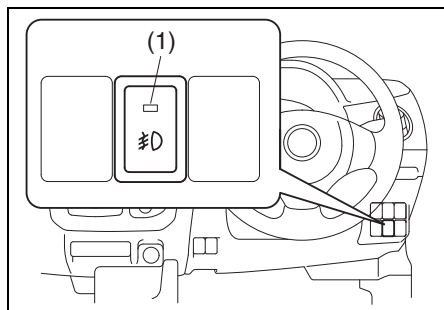
エンジン停止中はスイッチが入りません。（アイドリングストップ装備車のエンジン自動停止中を除く）

フォグランプスイッチ

タイプ別装備

ヘッドランプや車幅灯を点灯しているときに使用でき、雨や霧などで視界が悪いときに使用します。

- スイッチを押すとフォグランプが点灯し、スイッチ内の表示灯 (1) が点灯します。もう一度押すと消灯します。

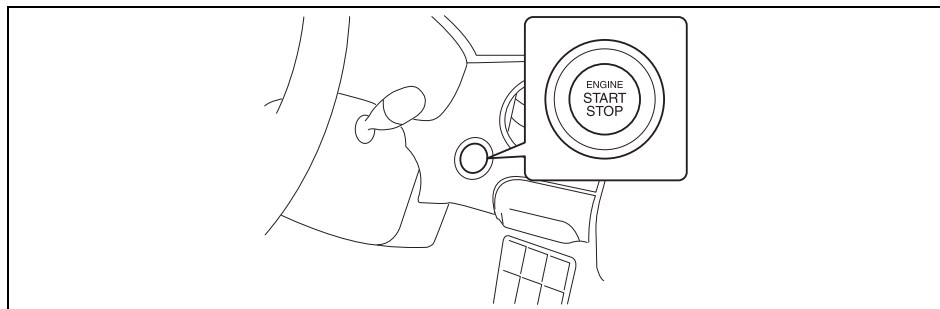


注記

バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

エンジンスイッチの各位置のはたらき



82K36T

エンジン始動


位置	エンジンの状態	はたらき
LOCK (OFF)	停止	駐車するときの位置です。エンジンスイッチを [LOCK] (OFF) にもどしていずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
ACC	停止	エンジンをかけずにオーディオやドアミラー、電源ソケットなどの電装品（タイプ別装備）を使用するときの位置です。メーター内のACC表示灯が点灯します。
ON	停止	エンジンをかけずにパワーウィンドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。メーター内の IG ON 表示灯などが点灯します。
	回転中	すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。 IG ON表示灯は点灯しません。
START	始動	携帯リモコンを所持してセレクトレバーを [P] にし、ブレーキを踏んでエンジンスイッチを押すと、自動的に始動します。

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

注記

エンジンを止めているときは、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたままにしないでください。また、その状態で長時間ラジオ（タイプ別装備）などを聞かないでください。バッテリーあがりの原因となります。

⚠️ アドバイス

- ハンドルロックは通常、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) から **ACC** または **ON** にしたときに解除されます。
- 強い電波やノイズの影響を受けると、メーター内のプッシュ表示灯  が点滅して、電源の切替えやエンジンの始動ができない場合があります。

ハンドルロックが解除できないときは

エンジンの始動ができません。ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。



エンジンイモビライザー

エンジンイモビライザーは盗難防止のため、携帯リモコンが電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたリモコン以外ではエンジンを始動できないようにするシステムです。

エンジンイモビライザー警告灯



メーターパネル内にあります。

→ 3-58ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- エンジンの始動が可能な場合は、エンジンをかけるときに、約2秒間点灯したあと消灯します。点滅または約5秒間点灯すると、エンジンがかからない場合があります。携帯リモコンの場合を確認し、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから、操作をやりなおしてください。

→ 3-77ページ

(プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは)

- 携帯リモコン車外持ち出し警告が作動したときにも点滅します。

→ 3-74ページ (携帯リモコン車外持ち出し警告)

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

プッシュエンジンスターター

所持している携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」(3-75 ページ参照)に入っていると、エンジンスイッチによる始動および電源の切替えが可能となります。また、その他に次の機能があります。

- リモートコントロールエントリーシステム
→ **3-9 ページ** (リモートコントロールエントリーシステム)
- リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠
→ **3-11 ページ** (携帯リモコン)
- エンジンイモビライザー (車両盗難防止装置)
→ **3-71 ページ**
(エンジンイモビライザー)

ACC表示灯



ACC

82K097

メーターパネル内にあります。

- エンジンスイッチが **ACC** 位置にあると点灯します。
→ **3-61 ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)
- **3-73 ページ**
(電源の切替えのしかた)

IG ON表示灯



ON

82K098

メーターパネル内にあります。

- エンジン停止状態で、エンジンスイッチが **ON** 位置にあるときに点灯します。
→ **3-61 ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)
- **3-73 ページ**
(電源の切替えのしかた)

プッシュ表示灯



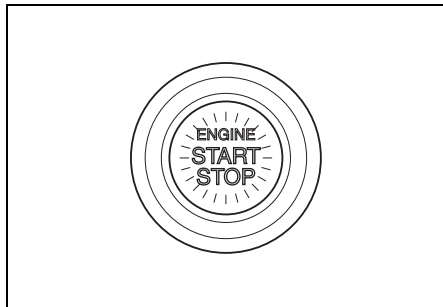
82K174

メーターパネル内にあります。

- ブレーキペダルを踏んで点灯したときは、通常エンジンの始動が可能です。ただし、始動できず点滅したときは、**3-77 ページ**の「**プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは**」をお読みください。
- ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押して点滅したときは、**3-74 ページ**の「**プッシュ表示灯が点滅して電源が切り替わらないときは**」をお読みください。

エンジンスイッチ照明

- 運転席ドアを開けると点灯します。
- 運転席ドアを閉めると約 15 秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。



82K253

⚠️ アドバイス

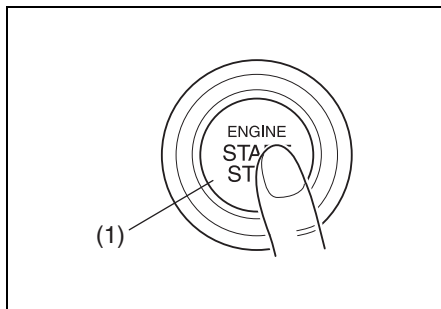
バッテリー保護のため、運転席ドアを閉め忘れて点灯させたままにしている場合、約15分が経過すると自動的に消灯します。(バッテリーセーバー機能)

電源の切替えのしかた

エンジンをかけずに電装品の使用やメーターの確認をしたいときは、次のようにしてエンジンスイッチの位置を切り替えます。

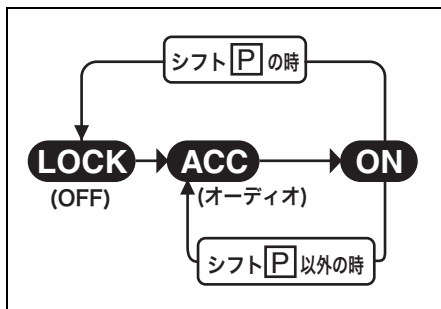
なお、この切り替えのことを「**電源の切替え**」といいます。

- 1 携帯リモコンを所持して運転席に座ります。
- 2 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ (1) を押します。



82K254

- 押すごとに次のようにエンジンスイッチの位置が切り替わります。




70K130

⚠️ アドバイス


- セレクトレバーが **P** 以外の位置にあると、**LOCK (OFF)** にはもどせません。
- ハンドルロックの故障などで、エンジンスイッチを **LOCK (OFF)** にもどせないことがあります。
→ **3-78 ページ (エンジンスイッチをもどすときは)**


3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

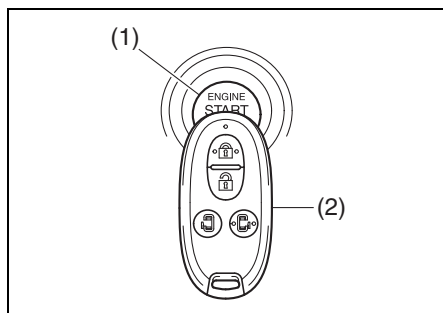
■ プッシュ表示灯 が点滅して電源が切り替わらないときは

携帯リモコンが「車内の作動範囲」(3-75ページ参照)で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯  の消灯後、操作をやり直してください。それでも切り替わらないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順で切り替えてください。

1 プレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ (1) を押します。

2 メーター内のプッシュ表示灯  が点滅している約10秒以内に、携帯リモコン(2)の先端(ロックスイッチ側)をエンジンスイッチに約2秒間あてます。

- プッシュ表示灯  の点滅中に、エンジンイモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。



82K30550

- 上図の携帯リモコンは代表例です。お車のタイプにより異なります。

※前記の手順を何度繰り返しても切り替わらないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

アドバイス

- 設定の切替え(カスタマイズ)をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー(室内ブザー)を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約15秒間点灯します。
→ 3-13ページ
(携帯リモコン電池消耗警告灯)
→ 6-6ページ
(携帯リモコンの電池交換)

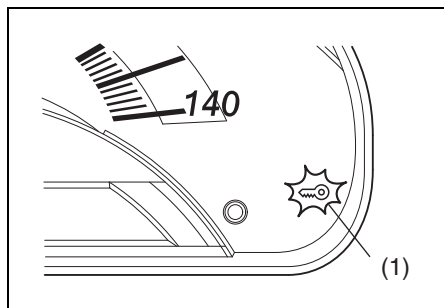
携帯リモコン車外持ち出し警告

次のような場合、室内/車外ブザーが約2秒間断続的に鳴るとともに、メーター内のエンジンイモビライザー警告灯が点滅し、携帯リモコンの車外持ち出しを警告します。

- エンジン回転中、またはエンジンスイッチが **ACC** または **ON** 位置にある状態で、いずれかのドアを開け、そのあとすべてのドアを閉めたときに携帯リモコンが車内にない場合
- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** 位置にある状態で、エンジンをかけようとしたときに携帯リモコンが車内にない場合

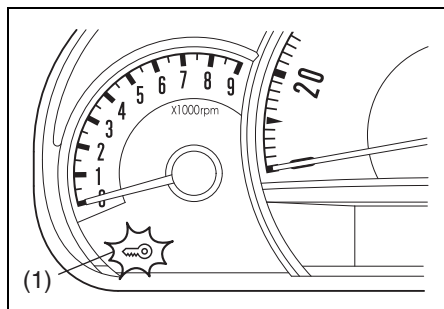
3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

タコメーターなし車



82K256

タコメーター装備車



82K193

(1) エンジンイモビライザー警告灯
(点滅)

警告が作動したときは、すみやかに携帯リモコンを車内にもどしてください。

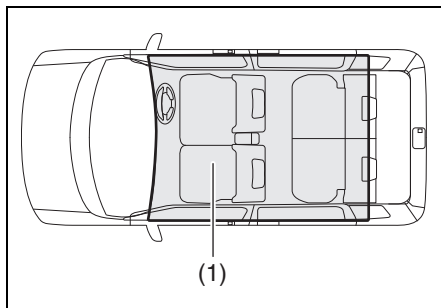
- 警告の作動中は、エンジンの再始動ができません。
- エンジンイモビライザー警告灯の点滅は、通常、携帯リモコンが車内にもどってきてから少しすると消灯します。消灯しない場合は、一度エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから再操作してください。

アドバイス

携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。

エンジン始動/電源切替え/ 携帯リモコン車外持ち出し警告の作動範囲 (車内)

「車内の作動範囲」(1)は、インパネの上や荷室などを除く車室内です。



82K336

エンジン始動

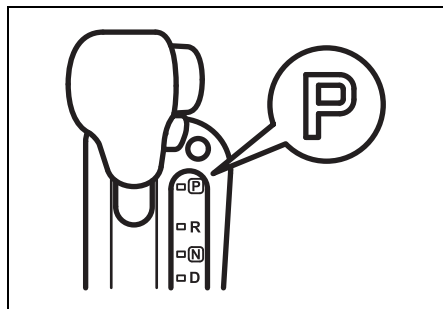
アドバイス

- 「車内の作動範囲」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、エンジン始動や電源切替えができない場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動する場合があります。
 - 携帯リモコンの電池が消耗している
 - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - 携帯リモコンが次のような小物入れの中にある
 - ・フロントセンターアームレストボックス
 - ・インパネセンターボックス
 - ・保冷機能付助手席アッパーボックス
 - ・グローブボックス
 - ・ドアポケット
- 携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床にある

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

アドバイス

- 「車内の作動範囲」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、エンジン始動や電源切替えができる場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動しない場合があります。
- 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
- 携帯リモコンがインパネの上や荷室にある



82K311

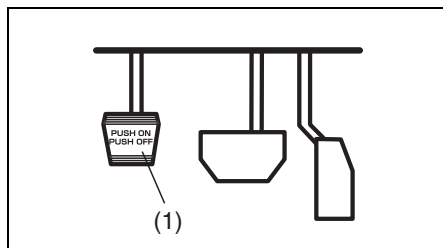
- 3 右足でブレーキペダル (2) をしっかり踏み続けます。

- アクセルペダル (3) は踏まないでください。

エンジンのかけかた

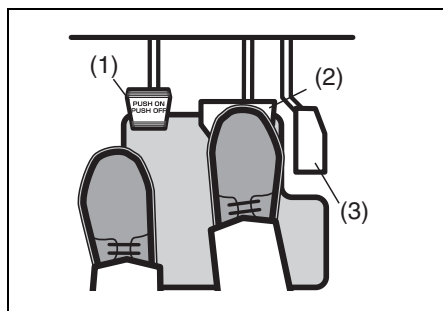
2-10 ページの「エンジンをかけるときは」もあわせてお読みください。

- 1 パーキングブレーキ (1) がしっかりかかっていることを確認します。




82K003

- 2 セレクトレバーが [P] になっていることを確認します。

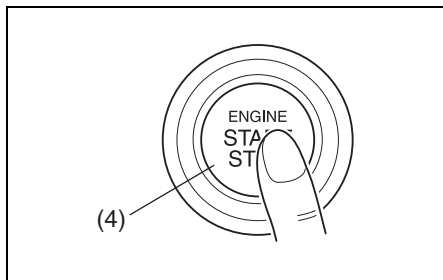


82K261

- 4 メーター内のプッシュ表示灯  が点灯したら、エンジンスイッチ (4) を押します。エンジンがかかったら、スターターは自動的に停止します。

- エンジンがかからなくても、スターターはしばらくすると自動的に停止します。自動停止後またはシステム異常時は、エンジンスイッチを押している間だけ、スターターがまわります。

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動





82K385


⚠️アドバイス


- ヘッドランプやエアコンなどのスイッチを切った方が、エンジンはかかりやすくなります。
- ハンドルロックが解除できなくて、エンジンの始動ができない場合があります。
→ **3-71 ページ (ハンドルロックが解除できないときは)**

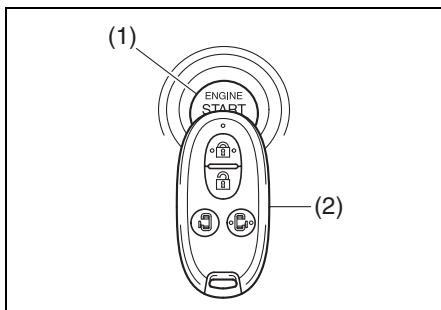
プッシュ表示灯 が点滅してエンジンがかからないときは

携帯リモコンが「車内の作動範囲」(3-75 ページ参照) で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯  の消灯後、操作をやり直してください。それでもエンジンがかからないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順を行なってください。

- 1 セレクトレバーが **P** にあることを再確認し、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けます。
- 2 メーター内のプッシュ表示灯  が点灯したら、エンジンスイッチ (1) を押します。

- 3 メーター内のプッシュ表示灯  が点滅している約 10 秒以内に、携帯リモコン (2) の先端 (ロックスイッチ側) をエンジンスイッチに約 2 秒間あてます。

- プッシュ表示灯  の点滅中に、エンジンイモビライザー警告灯が約 5 秒間点灯します。



82K30550

- 上図の携帯リモコンは代表例です。お車のタイプにより異なります。

※前記の手順を何度繰り返してもエンジンがかからないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

⚠️アドバイス

- 設定の切替え (カスタマイズ) をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー (室内ブザー) を 1 回鳴らすことができます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約 15 秒間点灯します。
→ **3-13 ページ (携帯リモコン電池消耗警告灯)**
→ **6-6 ページ (携帯リモコンの電池交換)**

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

エンジンを止めるときは

車両の状態	エンジン停止方法
停車中	エンジンスイッチを押す
走行中（緊急時）	エンジンスイッチを3連打以上、または2秒以上長押しする

- 停車中にエンジンを停止できないときは、エンジンスイッチを3連打以上、または2秒以上長押ししてください。この場合、システムの異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

警告

緊急時以外は、走行中にエンジンを止めないでください。

- ブレーキ倍力装置が働かないため、ブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になります。
- パワーステアリング装置が働かないため、ハンドルが重くなります。
- ABSが作動しません。

注記

走行中にエンジンを止めると、オートマチックトランスミッションが損傷するおそれがあります。

エンジンスイッチをもどすときは

- 1 セレクトレバーを **P** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。
→ **3-81ページ**
(セレクトレバーの操作)

- 2 エンジンスイッチを押して **LOCK** (OFF) にもどします。

- エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしていずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
- 誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけエンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせません。
 - セレクトレバーが **P** 位置
 - セレクトレバーのボタンから手を離している
- 誤操作防止のため、次のようなときは、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせません。
 - セレクトレバーの位置が **P** 以外
 - セレクトレバーの位置が **P** にあっても、セレクトレバーのボタンを押しているとき
→ **3-89ページ (駐車)**
- ハンドルロックの故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせないことがあります。日産販売会社で点検を受けてください。なお、点検前には次の作業をしてください。
 - 盗難を防ぐため、キー操作にてドアを施錠してください。(リクエストスイッチやリモートコントロールエントリーシステムでは施錠できません)
 - バッテリーあがりを防ぐため、バッテリーのマイナス端子を外してください。(10 mm スパナなどの市販工具が必要です)

3. 運転装置の取扱い/パーキングブレーキ

■ エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー

エンジンスイッチのもどし忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンスイッチを **ACC** にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- セレクトレバーを **P** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。エンジンスイッチを2回押して **LOCK** (OFF) にもどすと、室内ブザーが止まります。

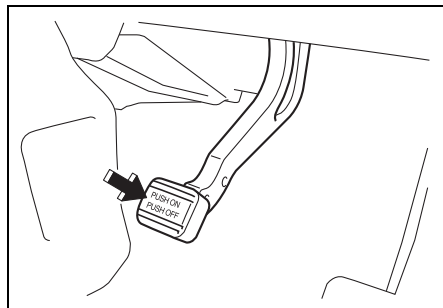
LOCK (OFF) にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。

■ ハンドルロック未作動警告ブザー

故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしていずれかのドアを開閉してもハンドルがロックされない場合、運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピッ、ピッ、”と断続的に鳴ります。日産販売会社で点検を受けてください。

パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキは後輪にかかります。駐車するときはパーキングブレーキをしっかりとかけてください。



82K050

ブレーキ

駐車するときは

右足でブレーキペダルを踏みながら左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

- パーキングブレーキをかけるときは、確実にブレーキが効くまで一気に踏み込んでください。
- 一気に踏み込まないで途中でペダルから足を離してしまったときは、一度解除してから、同じ手順で再度踏み込んでください。

警告

- 走行中は、パーキングブレーキペダルを踏まないでください。急ブレーキをかけた状態になり、事故を起こすおそれがあります。
- 走行中は、パーキングブレーキペダルに足をのせないでください。カーブを曲がる時などに足に力がかかり、踏み込んでしまうおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い／パーキングブレーキ

⚠ 注意

- パーキングブレーキの効きを強くしようとして、2度踏みをししないでください。2度踏みをする、ペダルがもどってパーキングブレーキが解除されます。
- パーキングブレーキを解除するときは、右足でブレーキペダルを踏んでください。

■ パーキングブレーキをさらに強く効かせたいときは

- 1 右足でブレーキペダルを強く踏んだままにします。
- 2 左足でパーキングブレーキを踏んで解除してから、再度踏み込みます。

解除するときは

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み、ゆっくりと離します。
- 坂道発進するときは、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏んでおき、右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動きだす感触を確認しながらパーキングブレーキペダルをゆっくりともどしてください。

⚠ 警告

パーキングブレーキを解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯しているか確認してください。万一、パーキングブレーキをかけたまま走行した場合、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

→ 3-54ページ（ブレーキ警告灯）

■ パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー

パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。

⚠ 警告

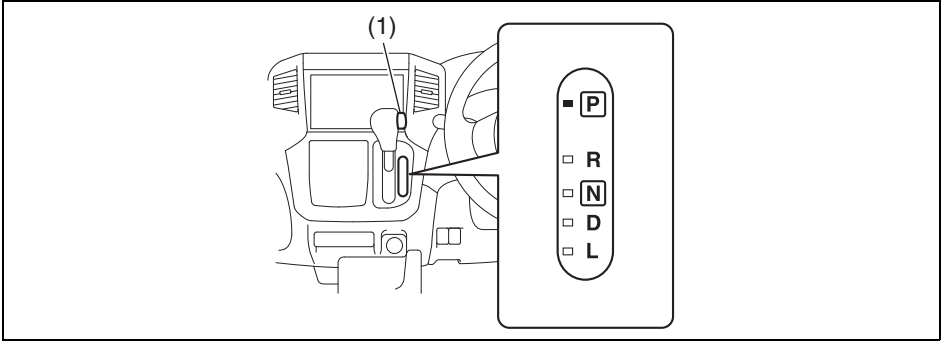
警告ブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、パーキングブレーキを解除してください。走行中の解除は、操作に気を取られて思わぬ事故を起こすおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

セレクトレバーの操作

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「CVT車」を示しています。

セレクトレバーの各位置のはたらき



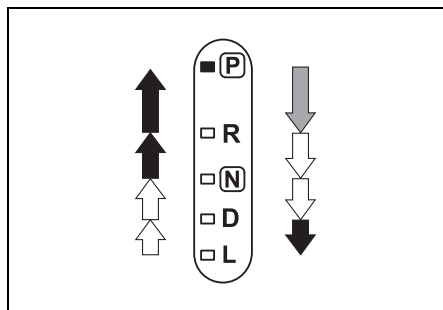
82K377

(1) ボタン

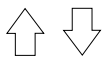
P パーキング	駐車するとき、エンジンを始動・停止するときの位置 ● 駆動輪（前輪）が固定されます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ● 室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ● エンジンを始動できますが、安全のため P の位置で始動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ● 車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
L ロー	強力なエンジンブレーキを効かせるときなどの位置 ● 急な下り坂を走行するときなどに使用します。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

セレクトレバーの動かし方



ブレーキペダルを踏み、ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。



ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。



ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。

注記

完全に停車させてから、セレクトレバーを **R** に入れてください。車が動いていると、トランスミッションが故障する原因となります。なお、トランスミッション保護のため、前進車速が約 10 km/h 以上のときは変速されません。(ニュートラルのまま)

アドバイス

⇕ の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣をつけてください。常にボタンを押して操作していると、間違って **P** **R** **L** へ入れてしまうおそれがあります。

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが **ON** でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かせます。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) のときは、ブレーキペダルを踏んでも、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かせません。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを **ON** にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを **P** から他の位置へ動かせない場合、次の手順でシフトロックを解除してください。
この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちに日産販売会社で点検を受けてください。

▲ 注意

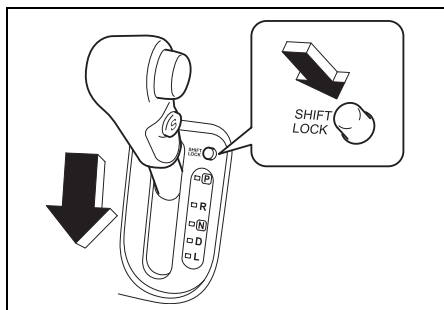
発進するときには、ブレーキペダルをしっかり踏んだままセレクトレバーを操作してください。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

■ シフトロックの解除のしかた

シフトロックシステムの故障やバッテリーあがりなどで、セレクトレバーを[P]から他の位置へ動かさせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

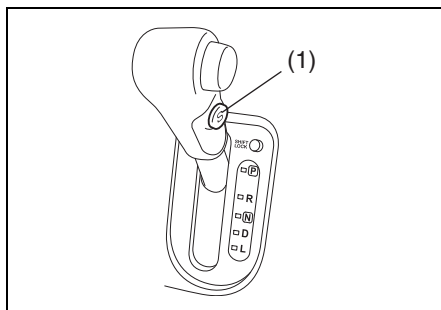
- 1 安全のため、パーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。
- 2 セレクトレバーパネルにあるシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーを操作します。



82K378

S (スポーツ) モードスイッチ

- スイッチを押すことに、ON と OFF が切り替わります。
- ONのときに、メーター内のS (スポーツ) モード表示が表示されます。
- S (スポーツ) モードスイッチは、エンジン始動時にはOFF状態にもどります。



85K2054

(1) S(スポーツ)モードスイッチ

■ スイッチがONのとき

坂道や山間路の走行に適しています。

- 下り坂では、エンジンプレーキがかかります。
- 上り坂や山間路ではエンジン回転数を高く保ち、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ スイッチがOFFのとき

通常走行に適しています。

- 燃費性能と静粛性の高い走行ができます。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

■ S (スポーツ) モード表示



メーターパネル内にあります。

- S (スポーツ) モードスイッチがONのときに表示されます。

→ 3-60ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

▲ 注意

- セレクトレバーを **P** **N** 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなる場合があります。とくにしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

⚠️ アドバイス

CVT車もクリープ現象があります。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越しなどをしたときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

▲ 注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。いっぱい踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速のおそれがあります。

登降坂変速制御

セレクトレバーが **[D]** の位置で作動する制御です。

- 登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。
- 降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンプレーキがかかります。

オートマチック車を運転するとき

トランスミッション警告灯



80J219

メーターパネル内にあります。

- CVTのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。

→ 3-58ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

[R] (リバース) ポジション 警告ブザー

セレクトレバーを **[R]** に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが **[R]** に入っていることを運転者に知らせます。

↓m アドバイス

[R](リバース) ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

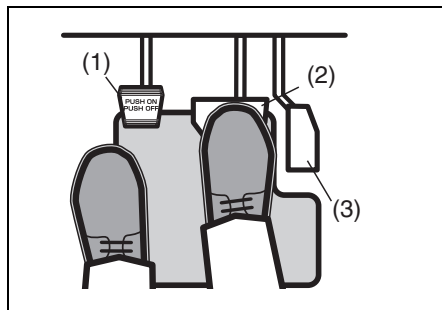
ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に足で踏んで、位置を確認してください。

警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルは右足で踏む



- (1) パーキングブレーキペダル
- (2) ブレーキペダル
- (3) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **R** に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **R** から **N** に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

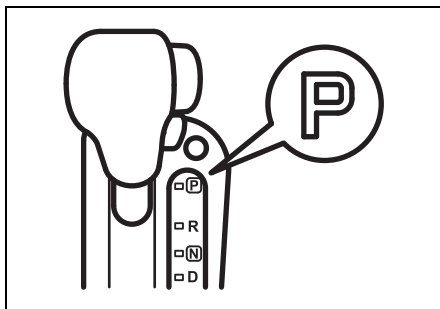
警告

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は **P**、前進時は **D**、後退時は **R** にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

警告

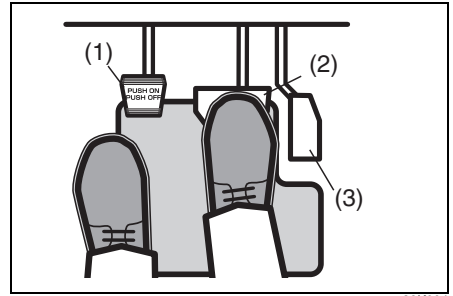
エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが **P** 以外に入っていると、車がひとりで動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

オートマチック車の運転のしかた

3-81 ページの「セレクトレバーの操作」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

- 1 ベダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートやハンドルを調節します。
→ 3-48ページ
(チルトステアリング)
→ 3-32ページ (前席シート)
- 2 アクセルペダル (3) とブレーキペダル (2) の位置を右足で確認します。
- 3 パーキングブレーキペダル (1) の位置を左足で確認します。

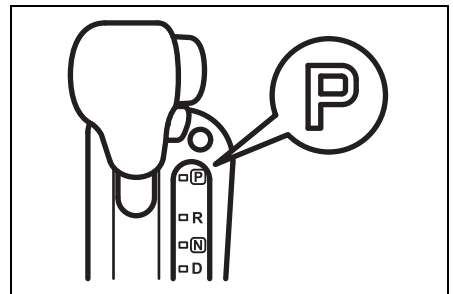


82K004

エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は、3-76 ページの「エンジンのかけかた」をお読みください。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2 セレクトレバーが **P** にあるか確認します。



82K311

アドバイス

セレクトレバーが **N** の位置でもエンジンがかかりますが、安全のため **P** でエンジンをかけてください。

- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 エンジンを始動します。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

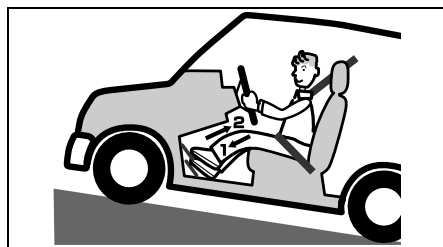
発進

■ 通常の発進

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏み込みます。
- 2 前進時は **[D]**、後退時は **[R]** にセレクタレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。
- 3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、アクセルペダルをゆっくり慎重に踏んで発進します。

■ 急な上り坂での発進

- 1、2 は「通常の発進」と同じ操作です。
- 3 左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み込みます。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと右足を離し、アクセルペダルを慎重に踏み込みます。
- 5 車が動きだす感触を確認しながら、パーキングブレーキペダルをもどして発進します。



82K202

アドバイス

ヒルスタートアシスト装備車の場合、急な上り坂での発進時に車が後退することを一定時間防ぐ機能があります。

→ **3-94ページ**

(ヒルスタートアシスト)

走行

■ 通常走行

セレクタレバーを **[D]** に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

▲ 注意

緊急時以外は、走行中にセレクタレバーを **[N]** にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

■ 急加速走行

追い越しなどをするときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を **[D]** で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ S (スポーツ) モードスイッチを ON にしておくと、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ 下り坂走行

下り坂を **D** のままで走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ **S** (スポーツ) モードスイッチを ON にしてエンジンブレーキを併用します。
- 急な下り坂で、強力なエンジンブレーキが必要なときには **L** に入れます。

⚠ 警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

一時停止

- 1 セレクトレバーは走行位置のままで停車し、ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
 - 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
 - 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを **N** に入れます。
- 2 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置とパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

⚠ 警告

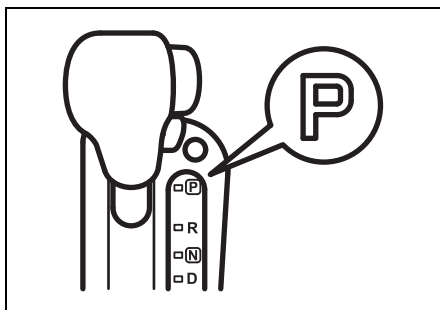
一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

注記

上り坂などで、アクセル操作でバランスをとるなどして車を停止させようとしないでください。トランスミッションオイルが過熱し、故障の原因となります。

駐車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 3 セレクトレバーを **P** に入れてからエンジンを止め、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。
 - セレクトレバーが **P** の位置になっているか目で確かめます。



82K311

⚠ 警告

駐車するときは、セレクトレバーを **P** に入れてからエンジンを止めてください。 **P** 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/オートマチック車

4 エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどします。

→ 3-78ページ(エンジンスイッチをもどすときは)

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行なってください。

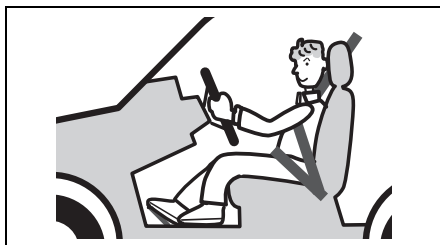
アドバイス

前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **R** に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **R** から **N** に入る習慣をつけてください。

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



80J014

▲ 注意

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置 (**D** **L**) にしたまま惰性で後退したり、後退の位置 (**R**) にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

■ 停車するとき

注記

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを **P** に入れないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

3. 運転装置の取扱い/アイドリングストップ

アイドリングストップ

タイプ別装備

アイドリングストップは、信号待ちや渋滞などでの停車時に、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。排出ガスの低減、燃費向上、エンジン騒音低下に役立ちます。

- 本システムは一定の条件のもとでブレーキペダルを踏んでいる間に限りエンジンを停止させるものです。長時間停車するときは、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止してください。
- ヒルスタートアシストが装備されています。
→ 3-94ページ
(ヒルスタートアシスト)

注記

本システム装備車は、非装備車に比べて高性能な専用のバッテリーを使用していますので、次のことをご守りください。守らないと本システムが正常に作動しなくなったり、バッテリーの寿命が短くなったりするおそれがあります。

- バッテリーを交換するときは、指定のバッテリーを使用する（指定外のものを使用しない）
→ 8-2ページ（サービスデータ）
- バッテリー端子から直接電気製品の電源をとらない

■ アイドリングストップ表示灯（緑色）



メーターパネル内にあります。

→ 3-53ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- 走行中に、エンジンが自動停止する条件（スタンバイ条件）をみたすと点灯します。
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

■ アイドリングストップ警告灯（オレンジ色）



メーターパネル内にあります。

→ 3-53ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- 次のような状況になると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。日産販売会社で点検を受けてください。
 - 本システムに異常があるとき
 - エンジン部品（スターター）やバッテリーが交換時期であるとき
- 本システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

⚠️アドバイス

点灯すると、アイドリングストップは作動しない場合があります。

3. 運転装置の取扱い/アイドルングストップ

エンジンの自動停止

■ エンジン自動停止のスタンバイ条件

エンジンが自動停止するには、事前に次のような条件をみたしている必要があります。条件をみたすと、アイドルングストップ表示灯（緑色）が点灯します。

- バッテリーが十分に充電されていて、バッテリー内部が所定温度内にある
- エンジンが十分に暖まっていて、エンジン冷却水やCVTオイルが所定温度内にある
- 運転席シートベルトを着用している
- 運転席ドアが完全に閉まっている
- ボンネットが完全に閉まっている
- ボンネットが完全に閉まった状態でエンジン始動をしている
- アイドリングストップOFFスイッチを操作して、本システムを停止状態にしていない
 - 3-94ページ（アイドルングストップOFFスイッチ）
- セレクトレバーが **D** または **N** 位置
- S（スポーツ）モードスイッチがOFF
 - 3-83ページ（S（スポーツ）モードスイッチ）
- ヒルスタートアシスト警告灯（オレンジ色）やブレーキ警告灯、ABS警告灯が点灯していない
- エンジン自動停止に関わる車体の電子制御システムが正常なとき

〈オゾンセーフオートエアコン（プッシュ式）装備車〉

- 吹出し口温度が冷房時は十分に冷えていて、暖房時は十分に暖まっているとき
- デフロスタースイッチがOFF
 - 5-7ページ（オゾンセーフオートエアコン（プッシュ式））

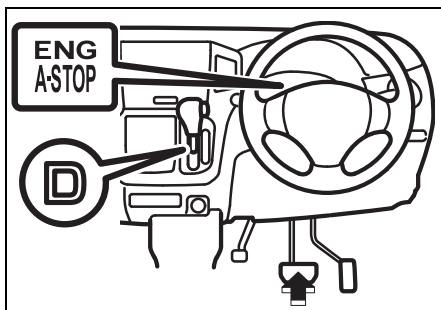
⚠️ アドバイス

車を長期間使用しなかったときなどでバッテリーが放電しているときは、スタンバイ状態になるまでに時間がかかることがあります。

■ エンジン自動停止の条件

前記のスタンバイ条件に追加して、次のような条件をみたすと、停車時にエンジンが自動停止します。このときアイドルングストップ表示灯（緑色）は点灯したままです。

- 5 km/h以上で走行後の停車時
- ブレーキペダルを踏んでいる
- アクセルペダルを踏んでいない



82K30560

エンジンの自動停止中に運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開けると室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。ドアを閉め、ベルトを着用してください。

⚠️ アドバイス

- エンジンの自動停止中は電動パワーステアリングシステムが働かないため、ハンドル操作が重くなります。
- エンジンの自動停止中でもオーディオなどの電装品は使用できますが、エアコンは送風に切り替わります。

3. 運転装置の取扱い/アイドリングストップ

- オゾンセーフオートエアコン（プッシュ式）装備車の場合、冷暖房性能を長持ちさせるため、エンジン自動停止中の風量（自動制御時のみ）に制限がかかります。

■ エンジンが自動停止しないとき

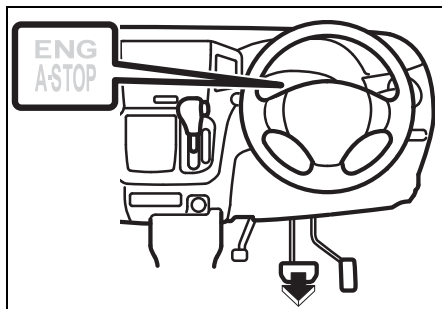
前記の条件をみただけでも、次のような場合は停車時にエンジンが自動停止しません。

- 急な坂道での停車時
- ブレーキ倍力装置の負圧が低い
- ブレーキペダルの踏みかたが弱い
- ABSが作動して、停車したとき

エンジンの自動再始動

エンジンの自動停止中に次のいずれかの操作をすると、エンジンが自動的に再始動します。このときアイドリングストップ表示灯（緑色）が消灯します。

- ブレーキペダルから足を離す
- アクセルペダルを踏む
- セレクトレバーを **P** **R** または **L** に入れる
- セレクトレバーを **N** に入れたあと **D** にもどす
- S（スポーツ）モードスイッチをONにする
→ 3-83ページ
（S（スポーツ）モードスイッチ）
- アイドリングストップOFFスイッチを操作して、本システムを停止状態にする
→ 3-94ページ（アイドリングストップOFFスイッチ）



82K30570

アドバイス

オーディオの音量が大きいと、エンジンの再始動時に音が途切れることがありますが異常ではありません。

■ エンジン強制再始動の条件

エンジンの自動停止中に次のような状況になると、ブレーキペダルを踏んでもエンジンが自動的に再始動します。このときアイドリングストップ表示灯（緑色）が点滅したあと消灯します。

- バッテリーの放電が進んだとき
- ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
- 本システム以外の異常を検出したとき
- エンジンが自動停止してから、しばらく経過したとき（最長2分程度）
- 坂道などで車両が動き出したとき

〈オゾンセーフオートエアコン（プッシュ式）装備車〉

- エンジン自動停止後、吹出し口温度が大きく変化し、冷暖房性能が十分でなくなったとき
- 温度調節ダイヤルを冷房時はCOOL側、暖房時はHOT側に大きくまわしたとき
- デフロスタースイッチをONにしたとき
→ 5-7ページ（オゾンセーフオートエアコン（プッシュ式））

3. 運転装置の取扱い/アイドリングストップ

■ エンジンが自動再始動しないとき

エンジンの自動停止中に次のような状況になると、安全のため室内ブザーが2回鳴って通常のエンジン停止状態となります。

- ボンネットを開けたとき
- 本システムの異常を検出したとき（アイドリングストップ警告灯（オレンジ色）が点灯）

このとき、エンジンは自動再始動しませんので、次の手順で対処してください。

- 1 ボンネットを完全に閉めます。
- 2 エンジンスイッチを操作して再始動します。

⚠️ アドバイス

メーターパネル内の次の警告灯は、エンジンの自動停止中は点灯しませんが、通常のエンジン停止状態になると点灯します。

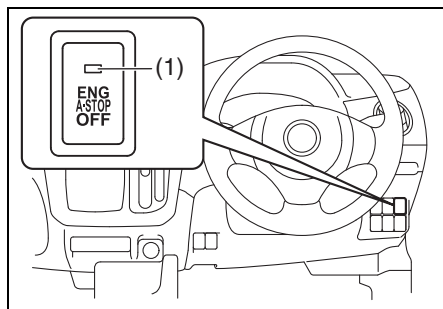
- エンジン警告灯
- パワーステアリング警告灯
- 油圧警告灯
- 充電警告灯
- アイドリングストップ警告灯（本システムの異常検出時）
→ 3-53ページ
（警告灯・表示灯の見かた）

アイドリングストップOFF スイッチ

本システムを停止状態にできます。

- システムを停止状態にするときは、スイッチを押してスイッチ内の表示灯(1)を点灯させます。

- システムを作動可能な状態にもどすときは、もう一度スイッチを押してスイッチ内の表示灯を消灯させます。
- 手でエンジンを停止するたびに、システムは作動可能な状態にリセットされ、スイッチ内の表示灯は消灯します。



82K30580

⚠️ アドバイス

エンジンの自動停止中にスイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯し、エンジンが自動再始動します。

ヒルスタートアシスト

タイプ別装備

ヒルスタートアシストは、急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に車が後退することを一時的に（約2秒間）防ぎ、スムーズな発進を補助するシステムです。

- ヒルスタートアシストは、坂道で車を停止させるシステムではありません。

3. 運転装置の取扱い/アイドリングストップ

警告

- 常に周囲の状況を確認して、必要に応じてブレーキペダルを操作して安全運転に努めてください。ヒルスタートアシストによる制御には限界があります。
- 極端に急な坂道、凍結路、泥道を上るときや、積載重量によっては、発進時に車両が後退する場合があります。
- ブレーキペダルから足を離したら、すみやかに発進操作を行なってください。ブレーキペダルから足を離したまま2秒以上たつとヒルスタートアシストが解除されるため、勾配によっては自重で坂道を下り、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、エンストしてブレーキを踏むときに強い力が必要になったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

■ ヒルスタートアシストの作動条件

ヒルスタートアシストは、次の条件をすべて満たしているときに、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間、車が後退することを防ぎます。

- セレクトレバーが前進または後退の位置に入っている
- パーキングブレーキを解除している
- 進行方向が坂の上りである

アイドリングストップ装備車の場合、前記条件をみたしていなくても、エンジン自動停止後の再始動時ならヒルスタートアシストが作動します。

→ 3-91ページ
(アイドリングストップ)

Ⓜアドバイス

作動中にエンジンルームから音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■ ヒルスタートアシスト警告灯 (オレンジ色)



82K170

メーターパネル内にあります。

→ 3-53ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- 本システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。日産販売会社で点検を受けてください。
- 本システムが正常な場合はエンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

Ⓜアドバイス

点灯すると、アイドリングストップは作動しません。また、ヒルスタートアシストも作動しない場合があります。

